資料２

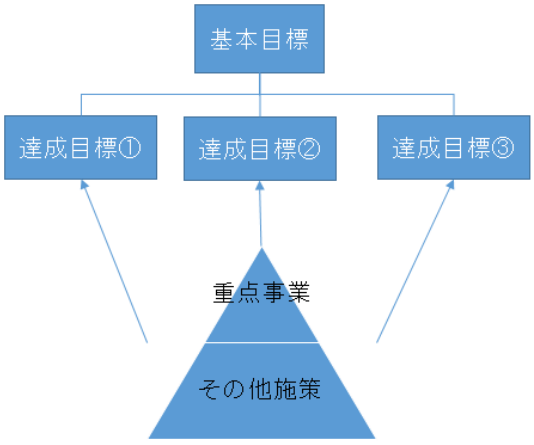
第二次町田市環境マスタープラン
2019 年度進捗報告書

本資料では、「第二次町田市環境マスタープラン」で掲示した 5 つの基本目標ごとに、2019 年度までの計画の進捗状況を下記の 3 点を中心にまとめました。

1、5 つの基本目標に対する**達成目標**
（基本目標ごとに 3 つの数値目標があります）
2、「後期アクションプラン」内で掲示した市が重点的に取り組む事業である**重点事業**
3、「後期アクションプラン」内で提示した**その他の施策**

これら 3 つを体系化したものが右図になります。

なお、後期アクションプランの重点事業、その他の施策の項目では、基本目標ごとにその事業がどの達成目標に関連があるかを目安として示しています。



※「後期アクションプラン」は町田市環境マスタープラン推進計画です。

目次

図や表の見方について 4

第二次町田市環境マスタープラン 2019 年度進捗報告 5

基本目標 1　地域で取り組む地球温暖化の防止 5

基本目標 2　自然環境と歴史的文化的環境の保全 8

基本目標 3　持続可能な循環型社会の構築 10

基本目標 4　良好な生活環境の創造 12

基本目標 5　環境に配慮した生活スタイルの定着 14

※基本目標ごとに 1 年の進捗報告をしています。これらをご確認いただき、別紙の意見シートにご意見、ご感想をご記入ください。

（参考）市民アンケート結果の一部抜粋 16

※2020 年の 4 月～5 月に行った市民アンケートの結果を一部抜粋しています。

（参考）第二次町田市環境マスタープラン 2019 年度取り組み結果一覧 . 18

重点事業 18

その他の施策 28

図や表の見方について

基本目標

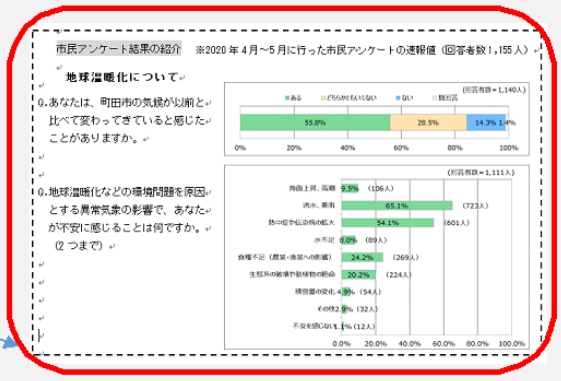
2021年度までの達成目標
基本目標ごとに3つの達成目標が設定されています。

基本目標１　地域で取り組む地球温暖化の防止　～低炭素社会を目指すまちづくり～

＜達成目標の進捗状況＞

2021年度までの達成目標	達成状況			
	基準年	2018年度	2019年度	2021年度
①市民一人あたりの二酸化炭素排出量（2010年度、3.8t-CO_2/人）の10%削減を目指します。	3.8t-CO_2/人	3.82t-CO_2/人	集計中	3.42t-CO_2/人
②再生可能エネルギーの市内エネルギー消費量に対する割合0.3%（2010年度、0.05%）を目指します。	0.05%	－	－	0.30%
都内における再生可能エネルギーによる電力利用割合	11.1%	15.3%	集計中	30%（2030年度）
③マイカーの使用はできるだけ控え、徒歩または自転車、電車、バスを利用する市民の割合（2011年度、37.1%）の10ポイント増の47.1%を目指します。	37.1%	26.4%	32.2%	47.1%

エコ（環境）に関する市民アンケートの結果
今年の4月～5月にかけて市内在住の3,000人の方を無作為に抽出して行ったアンケート結果の速報値になります。そのアンケート結果のうち基本目標や達成目標に関連する項目を掲載しています。



重点事業
市が重点的に取り組む事業の内容（名称、目標、進捗等）です。市が年度目標に対してどれくらい頑張れたのか（進捗はどうだったのか）を表記しています。
※取り組み結果の〇や△などは事業担当課の自己評価になります。

＜施策の取り組みの結果＞

取り組み結果の表記
◎：予定以上に進んだ　〇：予定どおりに進んだ
△：あまり予定どおりに進まなかった　×：まったく予定どおりに進まなかった
－：取り組みなし（目標達成済又は終了した事業）

●重点事業（参考資料2，pp.1-2）

関連達成目標	番号	重点事業名	目標	基準年度状況（値）（2015年度）	2019年度 年度目標（値）	2019年度 年度末現状（値）	2019年度 年度進捗目標	目標（値）（2021年度）
①	1	「わたしのエコ宣言」による家庭での取り組み支援	わたしのエコ宣言参加者の増加	－	3,000人／年	3,387人／年 7,061人（延べ数）	〇	10,000人（延べ数）
①	2	みどりのカーテン等の積極的な導入	公共施設参加数の増加	45施設	150施設（延べ数）	166施設（延べ数）	◎	300施設（延べ数）
			市民向け苗の配布数の増加	8,000苗	8,000苗	9,186苗		10,000苗

その他の施策
重点事業以外の施策について各施策の進捗結果を関連する達成目標に紐づけて表記（カウント）しています。
※取り組み結果は事業担当課の自己評価になります。

取り組み結果の表記
◎：予定以上に進んだ　〇：予定どおりに進んだ
△：あまり予定どおりに進まなかった　×：まったく予定どおりに進まなかった
－：取り組みなし（目標達成済又は終了した事業）

●その他の施策（参考資料2，pp.11-13）

	関連達成目標	取り組み結果（取り組み数） ◎	〇	△	×	－
基本目標1	①	1	30	2	1	0
	②	0	5	2	0	0
	③	0	7	1	0	0
	計	1	42	5	1	0

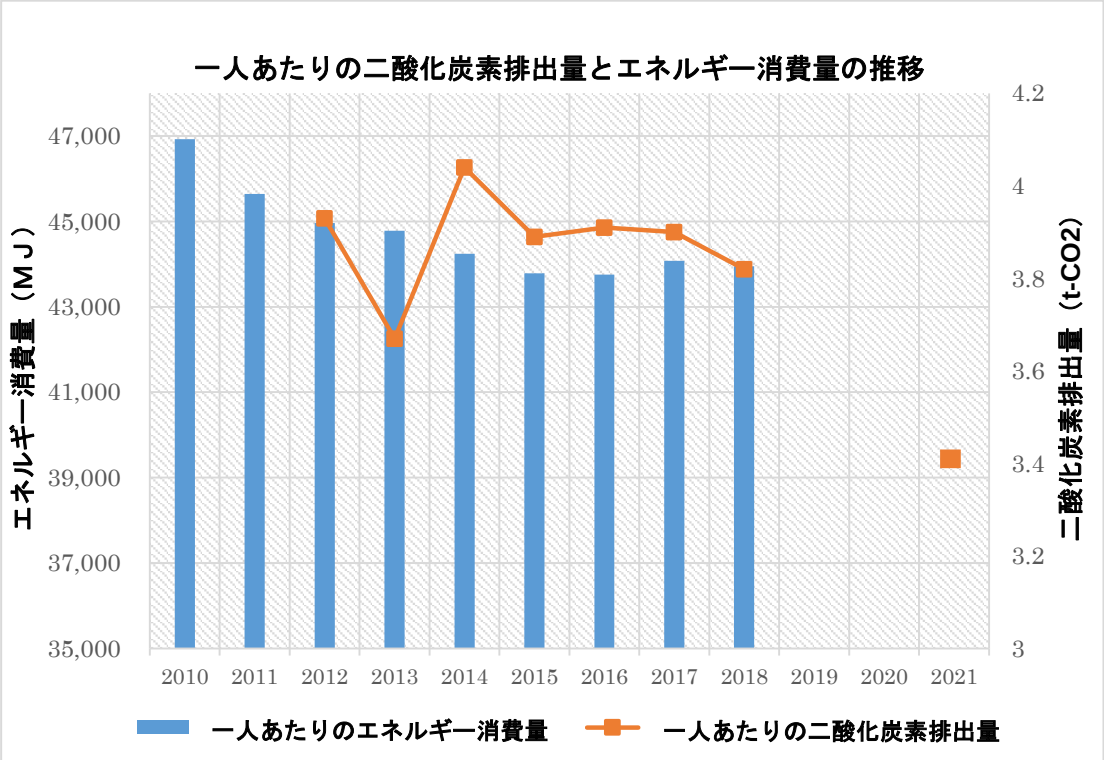
※複数の達成目標に関連する施策の場合は、重複してカウントしています。

基本目標１　地域で取り組む地球温暖化の防止　～低炭素社会を目指すまちづくり～

＜達成目標の進捗状況＞

2021年度までの達成目標	達成状況			
	基準年	2018年度	2019年度	2021年度
①市民一人あたりの二酸化炭素排出量（2010年度、3.8t-CO_2/人）の10%削減を目指します。	3.8t-CO_2/人	3.82t-CO_2/人	集計中	3.42t-CO_2/人
②再生可能エネルギーの市内エネルギー消費量に対する割合0.3%（2010年度、0.05%）を目指します。	0.05%	－	－	0.30%
都内における再生可能エネルギーによる電力利用割合	11.1%	15.3%	集計中	30%（2030年度）
③マイカーの使用はできるだけ控え、徒歩または自転車、電車、バスを利用する市民の割合（2011年度、37.1%）の10ポイント増の47.1%を目指します。	37.1%	26.4%	32.2%	47.1%

① 市民一人あたりの二酸化炭素排出量は 2016 年度 3.91t-co_2/人、2017 年度 3.90t-co_2/人、2018 年度 3.82t-co_2/人と減少傾向にありますが、2021 年度の目標達成（3.42t-co_2/人）は厳しい状況です。特に東日本大震災以降、原子力発電の代わりに、化石燃料を燃やす火力発電が増えたことに大きな影響を受けています。



※市民一人あたりの二酸化炭素排出量は、市域の電気使用・都市ガス使用による二酸化炭素排出量、自動車利用に伴う二酸化炭素排出量、一般廃棄物の焼却に伴う二酸化炭素排出量の合計を市の人口で割って算出しています。

② 市の事業（補助金制度）は終了しているため、都内の状況のみを参考までに記載しています。
※再生可能エネルギーの補助について、市の補助制度は終了しましたが、市ではホームページ等で国や都の補助制度の紹介を行っています。また市の事業としては太陽光発電やエネファームの普及啓発をイベントやホームページで行っています。

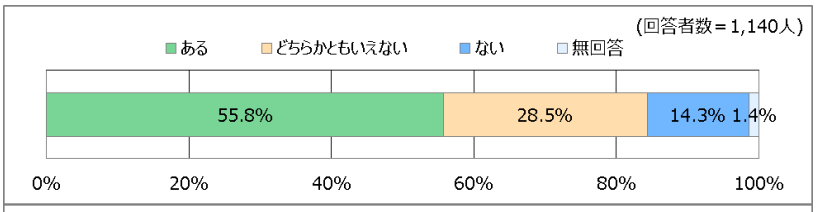
③ マイカーの使用をできるだけ控えるという市民の割合は増加しました。
※市民アンケート結果（いつもやっている 32.2%、ときどきやっている 34.6%）より算出

市民アンケート結果の紹介

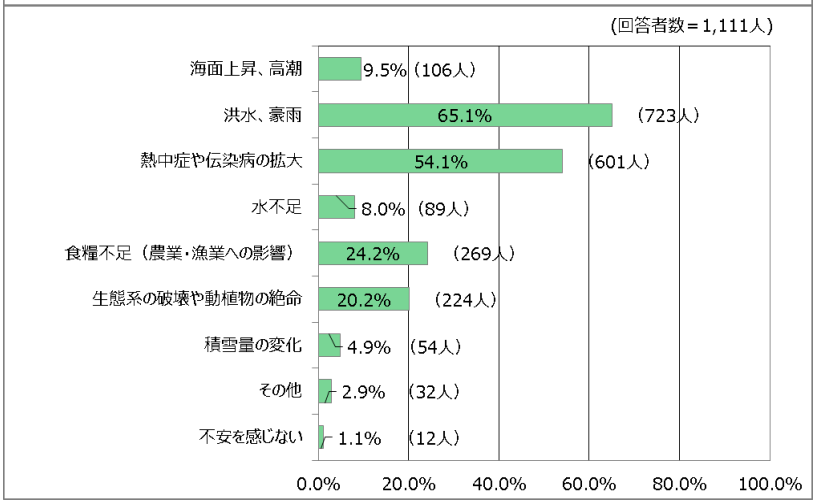
※2020 年 4 月～5 月に行った市民アンケートの速報値（回答者数 1,155 人）

地球温暖化について

Q. あなたは、町田市の気候が以前と比べて変わってきていると感じたことがありますか。



Q. 地球温暖化などの環境問題を原因とする異常気象の影響で、あなたが不安に感じることは何ですか。（2 つまで）



〈施策の取り組みの結果〉

取り組み結果の表記
◎：予定以上に進んだ　○：予定どおりに進んだ
△：あまり予定どおりに進まなかった　×：まったく予定どおりに進まなかった
－：取り組みなし（目標達成済又は終了した事業）

●重点事業（ P18-19 参照）

関連達成目標	番号	重点事業名	目標	基準年度状況（値）（2015年度）	2019年度 年度目標（値）	2019年度 実績値	2019年度 取り組み結果	目標（値）（2021年度）
①	1	「わたしのエコ宣言」による家庭での取り組み支援	わたしのエコ宣言参加者の増加	－	3,000人/年	3,387人/年 7,061人（延べ数）	○	10,000人（延べ数）
①	2	みどりのカーテン等の積極的な導入	公共施設参加数の増加	45施設	150施設（延べ数）	166施設（延べ数）	◎	300施設（延べ数）
			市民向け苗の配布数の増加	8,000苗	8,000苗	9,186苗		10,000苗
①	3	歩道の透水性舗装の整備	透水性舗装面積の増加	25,958㎡	437㎡/年 （成瀬駅北口広場）	437㎡/年 33,627㎡（累計）	○	34,240㎡
① ③	4	路線バス利用環境整備	既存バス停を活用した乗り継ぎ拠点の整備完了	協議開始	①乗り継ぎ拠点を活用したバス路線網再編の構想とりまとめ ②乗り継ぎ拠点整備に向けた基本設計実施	①バス事業者との調整実施 ②基本設計実施	○	既存バス停を活用した乗り継ぎ拠点の整備完了
①	5	水素ステーションの誘致	水素ステーションの誘致	－	1施設	誘致活動中	△	定置式または移動式1施設
①	6	エコドライブの周知、普及・啓発の実施	エコドライブ実践者の割合の増加	42.8%	－	46.6%	○	エコドライブ実践者の割合2015年度比10ポイント増
①	7	特別緑地保全地区等の指定拡大	特別緑地保全地区の面積の増加	43ha	図師南特別緑地保全地区の用地取得（取得予定面積：約86㎡）	47.5ha	○	46ha

代表的なものや、補足説明が必要と考える事業について次頁に示します。

【重点事業　1】　　「わたしのエコ宣言」による家庭での取り組み支援

事業概要は、市民に地球温暖化防止のために日常生活の中で行う取り組みを宣言してもらい、参加状況から二酸化炭素排出量削減の合計量をホームページで公表し、参加者が効果を実感することで更なる環境配慮行動の推進に繋げるものです。2019 年度も予定通り事業を推進し、年度目標を達成しました。

わたしのエコ宣言とは

家庭ですぐにできる地球温暖化対策（10項目）の中から、実施する取り組みを選び、宣言します。

わたしのエコ宣言取り組み項目

		項　目	1年間の効果		宣言
			CO2削減量	節約	
1	台所	冷蔵庫の開け閉めを少なくする	3.6キログラム	230円	
2	部屋	使わない部屋の照明は消す	11.2キログラム	530円	

【重点事業　2】　　みどりのカーテン等の積極的な導入

市庁舎前では市民向けに（1,020 世帯、4,057 苗）、小山田苗圃では施設、団体向けに（5,129 苗）ゴーヤの苗の配布を行いました。また普及啓発の取り組みとして、緑のカーテン育て方講習会を 2 回行いました。さらに夏には緑のカーテンの写真を広く募集し、生育状況や取り組みの様子を環境教育展などで展示しました。2019 年度は目標を大きく上回り、市民への普及啓発と共に地球温暖化防止に寄与する取り組み結果となりました。2020 年度も施設や商店街など多方面に呼びかけを行います。

【重点事業　3】　　歩道の透水性舗装の整備

透水性舗装は道路（歩道）などをすき間の多い舗装材で舗装することで雨水を地中に浸透させやすくする工法です。道路上に水たまりができにくくなったり、浸透した雨水が地下水の保全となったりしています。ゲリラ豪雨対策としても有効です。2019 年度も予定通り事業を推進し、年度目標を達成しました。

【重点事業　5】　　水素ステーションの誘致

市内の交通量が多い幹線道路沿いを中心にステーション適地の調査を行いました。市内 5～6 箇所の誘致候補地を検討し、1 箇所において土地所有者と事業者のマッチングに成功したものの決定には至りませんでした。2020 年度も引き続き東京都や他部署及び地元の不動産事業者等と連携して情報収集を図り、誘致候補地の検討を行い、誘致に結び付けられるよう事業を推進します。

取り組み結果の表記
◎：予定以上に進んだ　○：予定どおりに進んだ
△：あまり予定どおりに進まなかった　×：まったく予定どおりに進まなかった
－：取り組みなし（目標達成済又は終了した事業）

●その他の施策（ P28-33 参照）

	関連達成目標	取り組み結果（取り組み数）				
		◎	○	△	×	－
基本目標1	①	1	31	1	1	1
	②	0	7	1	0	1
	③	0	5	0	0	0
	計	1	43	2	1	2

※複数の達成目標に関連する施策の場合は、重複してカウントしています。

基本目標 2　自然環境と歴史的文化的環境の保全　～水とみどりと生き物を守り育むまちづくり～

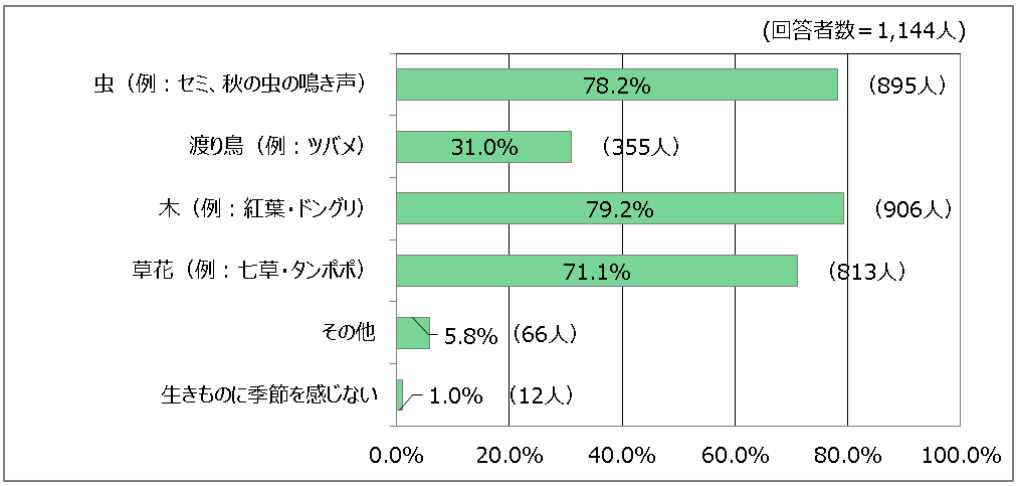
＜達成目標の進捗状況＞

2021年度までの達成目標	達成状況			
	基準年	2018年度	2019年度	2021年度
①市域面積に占める安定的に確保された緑地の割合（2010年度、28.9%）を、2020年度までに概ね30%確保することを目指します。	28.9%	28.7%	28.7%	30%
②町田市内での水辺（河川・池・公園等の水辺）とのふれあいについて満足している市民の割合（2011年度、39.8%）の10ポイント増の49.8%を目指します。	39.8%	46.6%	52.0%	49.8%
③生きものに関心のある市民の割合40%（2013年度、31.3%）を目指します。	31.3%	37.5%	33.7%	40%

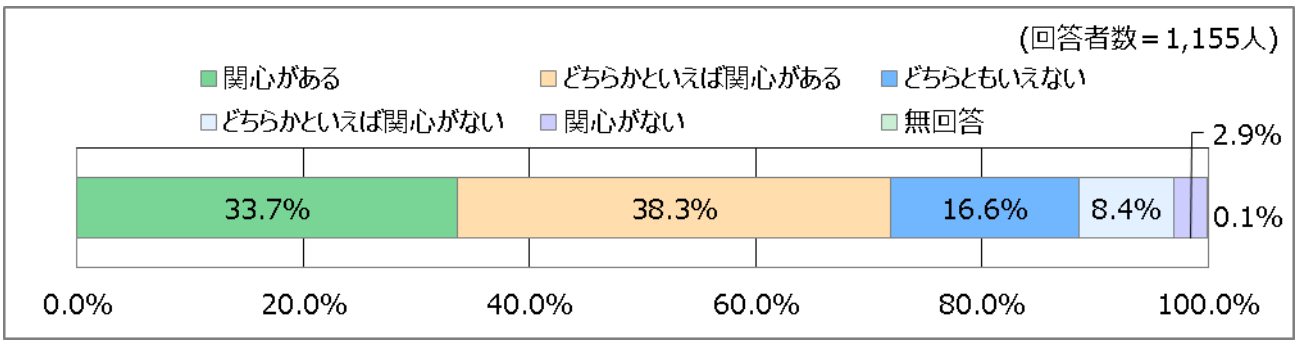
① 市域面積に占める緑地の割合は減少しています。緑地保全基金等を活用し緑地確保に取り組んでいますが、生産緑地の減少もあり、基準年度比で減少している状況です。
② 水辺とのふれあいについて、満足している市民の割合は 2018 年度と比較すると 5.4 ポイント増加、基準年からは 12.2 ポイント増加し、順調に推移しています。2021 年度の目標も達成しました。
③ 生きものに関心のある市民の割合は 2018 年度と比較すると 3.8 ポイント減少、基準年からは 2.4 ポイント増加しました。

市民アンケート結果の紹介　町田市の生きものについて

Q.　町田市内のどのような生きものに、季節を感じますか。（あてはまるもの全て）



Q.　町田市内の生きものに関心がありますか。　**達成目標 2-③**



〈施策の取り組みの結果〉

取り組み結果の表記
◎：予定以上に進んだ　○：予定どおりに進んだ
△：あまり予定どおりに進まなかった　×：まったく予定どおりに進まなかった
－：取り組みなし（目標達成済又は終了した事業）

●重点事業（ P20-21 参照）

関連達成目標	番号	重点事業名	目標	基準年度状況(値)（2015年度）	2019年度			目標(値)（2021年度）
					年度目標(値)	実績値	取り組み結果	
①	8	都市計画公園の用地取得・整備	町田薬師池公園四季彩の杜　西園の整備完了 野津田公園、芹ヶ谷公園の一部整備完了	－	・町田薬師池公園四季彩の杜西園整備工事及びウェルカムゲート整備工事完了 ・野津田公園拡張区域の実施設計完了及び工事着手、芹ヶ谷公園整備工事(1期)完了	・町田薬師池公園四季彩の杜西園整備完了 ・芹ヶ谷公園(1期)整備完了	○	・町田薬師池公園四季彩の杜　整備完了　西園(2019年度)、北園(2023年度) ・一部整備完了 野津田公園(2021年度)、芹ヶ谷公園(2019年度)
②	9	水辺の魅力の発信	情報発信回数の増加	－	4回/年	4回/年	○	20回/年
					忠生公園の特色である谷戸(湧水)の魅力を発信するため、様々な観察会を行います。	15回/年	○	
③	10	生物多様性情報拠点機能の構築・充実	生物多様性情報拠点機能の整備・充実	内容、方向性の検討	アプリによる情報収集と、収集した情報の提供実施	生物多様性情報拠点機能の整備・充実	◎	生物多様性情報拠点機能の整備・充実
①	11	北部丘陵の整備	新たな取り組みにより維持管理や活用が図られた山林等の面積の増加	－	モデル地区での事業の実施	22,673㎡	◎	5,000㎡
①	12	遊休農地のあっせん	農地あっせん面積の増加	14.3ha	里山の原風景を保全していくため、遊休化している農地1haの利活用を図る	17.9ha (1.5ha増加)	○	20ha
①	13	観光交流拠点を活用したイベントの実施	小野路宿里山交流館での自然や歴史・文化に関するイベント実施回数の増加	32回	40回/年	37回/年	○	40回/年

代表的なものや、補足説明が必要と考える事業について以下に示します。

【重点事業　10】　　生物多様性情報拠点機能の構築・充実

市民通報アプリ「まちピカ町田くん」の撮影機能を活用し、市民が撮影した生きものの写真を「生きもの発見レポート」として収集しました（件数 995 件）。収集したものはホームページに掲載したり、冊子（まちだ生きものアルバムの発行）を作ったりして市民に広く紹介を行いました。さらにアプリと連動した企画「町田生きもの探しキャンペーン」の実施や忠生公園自然観察会とのコラボによるスマホでの写真講習会等も実施しました。

【重点事業　11】　　北部丘陵の整備

里山保全に関する協定について、協定団体と協議を行い、協定を変更し協定区域を 3,565 ㎡広げました。2019 年度の目標も達成し、2021 年度の目標も達成済みです。引き続き北部丘陵の環境整備等を行っていきます。

●その他の施策（ P34-39 参照）

	関連達成目標	取り組み結果（取り組み数）				
		◎	○	△	×	－
基本目標2	①	3	19	1	0	3
	②	0	7	0	1	1
	③	1	14	0	0	4
	計	4	40	1	1	8

※複数の達成目標に関連する施策の場合は、重複してカウントしています。

基本目標 3　持続可能な循環型社会の構築　～ごみを減らし資源を有効活用するまちづくり～

＜達成目標の進捗状況＞

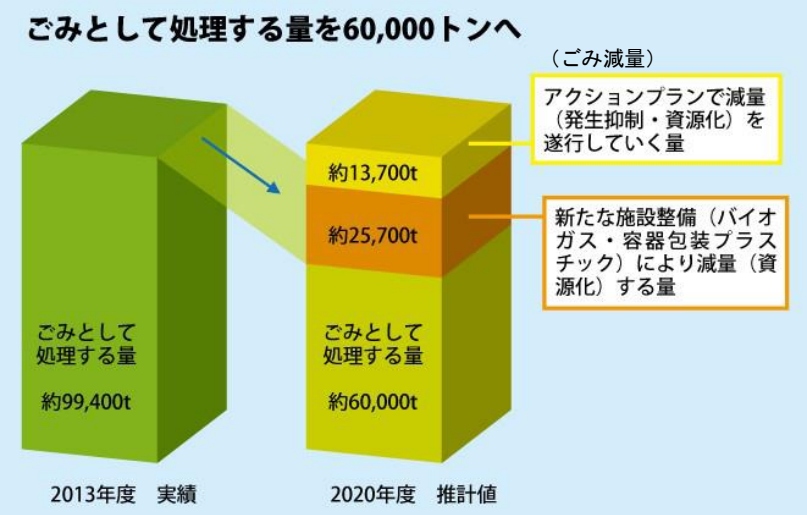
2021年度までの達成目標	達成状況			
	基準年	2018年度	2019年度	2020年度
①ごみとして処理する量（資源ごみを含まない：2009年度、9万9千t）を40%削減し、2020年度に6万tにします	99,152t	91,789t	94,309t	60,000t
②一人一日あたりのごみとして処理する量（資源ごみを含む：2010年度、842g/人・日）を、2020年度までに782g/人・日に削減することを目指します。	842g	758g	770g	782.0g
③資源化率（2010年度、26.7%）を、2020年度までに54%まで高めることを目指します。	26.7%	25.5%	24.6%	54.0%

① ごみとして処理する量は、基準年から 4,843t 減少していますが、2018 年度からは 2,520t 増加しました。
② 一人当たりのごみ量は、2018 年度からは 12g 増加していますが、770g と目標は達成しています。
③ 資源化率は、基準年度から低下しています。

町田市一般廃棄物資源化基本計画　削減目標について

町田市では、「町田市一般廃棄物資源化基本計画」で、2020 年度までに「ごみとして処理する量を 40%削減」することを全体目標としています。目標達成には、約 39,400ｔの減量が必要ですが、新たな施設整備の計画（生ごみのバイオガス化による資源化及び容器包装プラスチックの資源化）により、約 25,700ｔが減量される予定です。

施設整備は P11 で示すとおり、稼働時期が遅延し、2020 年度の目標達成は見込めない状況です。引き続き、施設整備を着実に進めると共に、施設によらない約 13,700ｔの減量については、2015 年度に策定したごみ減量アクションプランに基づく取り組みを進めていきます。



〈施策の取り組みの結果〉

取り組み結果の表記
◎：予定以上に進んだ　○：予定どおりに進んだ
△：あまり予定どおりに進まなかった　×：まったく予定どおりに進まなかった
－：取り組みなし（目標達成済又は終了した事業）

●重点事業(P22-24 参照)

関連達成目標	番号	重点事業名	目標	基準年度状況(値)（2015年度）	2019年度 年度目標(値)	2019年度 実績値	2019年度 取り組み結果	目標(値)（2021年度）
①	14	情報発信拠点としてのリサイクル広場の活用	リサイクル広場開催箇所数の増加	17ヶ所（2014年度）	リサイクル広場開催箇所数23ヶ所、リサイクル広場来場者数35,000人	23ヶ所	○	23ヶ所　（2020年度）
			リサイクル広場来場者数の増加	30,000人（2014年度）		31,546人		36,000人（2020年度）
①②③	15	ごみ減量に関する出前講座の充実	出前講座実施回数の増加	104回／年（2014年度）	140回/年	128回/年	○	150 回／年（2020年度）

関連達成目標	番号	重点事業名	目標	基準年度状況(値)(2015年度)	2019年度			目標(値)(2021年度)
					年度目標(値)	実績値	取り組み結果	
①②③	16	食品ロスの啓発等、各種キャンペーンの実施	キャンペーンの実施回数の増加	12回／年(2014年度)	40回/年	39回/年	○	20 回／年(2020年度)
	17	事業所向けの情報提供の実施	説明会開催回数	―	説明会開催回数:1回	1回/年	○	1回/年(2020 年度)
			市内事業所への訪問件数の増加	―	事業所訪問件数:100件	170件/年		190件/年(2020 年度)
	18	生ごみ処理機の導入促進	生ごみ自家処理世帯数の増加	1,831世帯(2014年度)	200世帯の増	3,453世帯	○	14,981 世帯(2020 年度)
	19	ごみ・資源の新たな効果的な収集方法の検討	効果的な収集方法の確立	―	資源ごみ処理施設の整備、稼働開始の状況に合わせて、収集体制の見直しを行う	収集体制の見直しを行った	○	効果的な収集方法の確立(2025 年度)
①③	20	熱回収施設等の整備	熱回収施設等(焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設)の整備、稼動開始	事業者候補者選考委員会の開催、整備運営事業者の選定	・2018年度より着手した、熱回収施設の第2期工事である建設工事を進める ・地区連絡会等において周辺住民と合意形成を図りながら、安心安全な施設の建設を進める	工場棟地下躯体工事完了	○	稼動開始
	21	資源ごみ処理施設の整備	① 資源ごみ処理施設(相原)の整備、稼動開始 ② 資源ごみ処理施設(上小山田)の整備、稼動開始	① 要求水準書案の作成準備 ② 施設計画等検討	・用地取得に向けて、必要な調査及び地権者との交渉を進める ・地区連絡会等において周辺住民と合意形成を図りながら、施設建設計画を推進する	関係者等と調整中	△	①稼動開始(2025年度) ②稼動開始(2027年度) ※2018年3月に稼働開始目標年度の見直しを行いました(当初目標は2020年度)。

代表的なものや、補足説明が必要と考える事業について以下に示します。

【重点事業　14】　　情報発信拠点としてのリサイクル広場の活用

リサイクル広場を情報発信拠点と位置づけ「地域リサイクル広場」を拡充・拡大し効果的に様々な情報発信を行うことを目的とした事業です。2019 年度は空白地である中心市街地でも開催できました。(市庁舎(環境月間イベント、エコフェスタ)、町田シバヒロ等)。

【重点事業　17】　　事業所向けの情報提供の実施

大規模事業所（59 件)、中小事業所（111 件）に対し、訪問指導を実施し、南町田グランベリーパークに対してはオープン前とオープン後にそれぞれ訪問指導を行いました。また排出事業者向けの説明会を 1 回実施しました。ごみの減量策として一般廃棄物へのプラスチックごみ混入防止を訴えるチラシを作成しました。

●その他の施策(P40-45 参照)

	関連達成目標	取り組み結果(取り組み数)				
		◎	○	△	×	－
基本目標3	①	0	28	3	2	0
	②	0	14	0	0	0
	③	0	22	2	2	0
	計	0	64	5	4	0

※複数の達成目標に関連する施策の場合は、重複してカウントしています。

基本目標４　良好な生活環境の創造　～安全で快適な暮らしを実現するまちづくり～

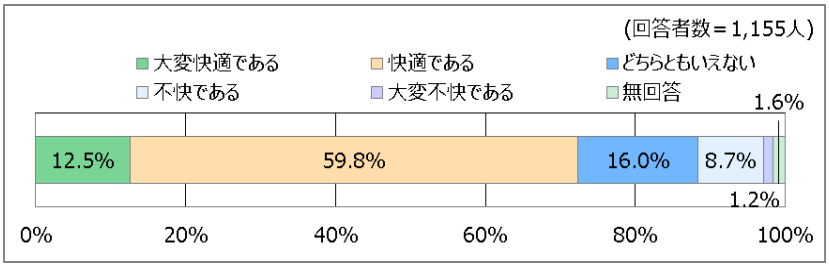
＜達成目標の進捗状況＞

2021年度までの達成目標			達成状況			
			基準年	2018年度	2019年度	2021年度
①大気に関するすべての項目での環境基準の達成を目指します。	SO_2		100%	100%	集計中	100%
	NO_2		100%	100%	集計中	100%
	SPM		100%	100%	集計中	100%
②鶴見川、境川、恩田川の水質に関するすべての項目での環境基準の達成を目指します。	BOD	鶴見川	100%	100%	100%	100%
		境川	100%	100%	100%	100%
		恩田川	100%	100%	100%	100%
	SS		100%	100%	100%	100%
	DO		100%	100%	100%	100%
	pH	鶴見川	100%	81%	82%	100%
		境川	100%	78%	72%	100%
		恩田川	83%	42%	75%	100%
③居住地の周辺環境について満足している市民の割合（2011年度、62.7%）の5ポイント増の67.7%を目指します。			62.7%	65.4%	72.3%	67.7%

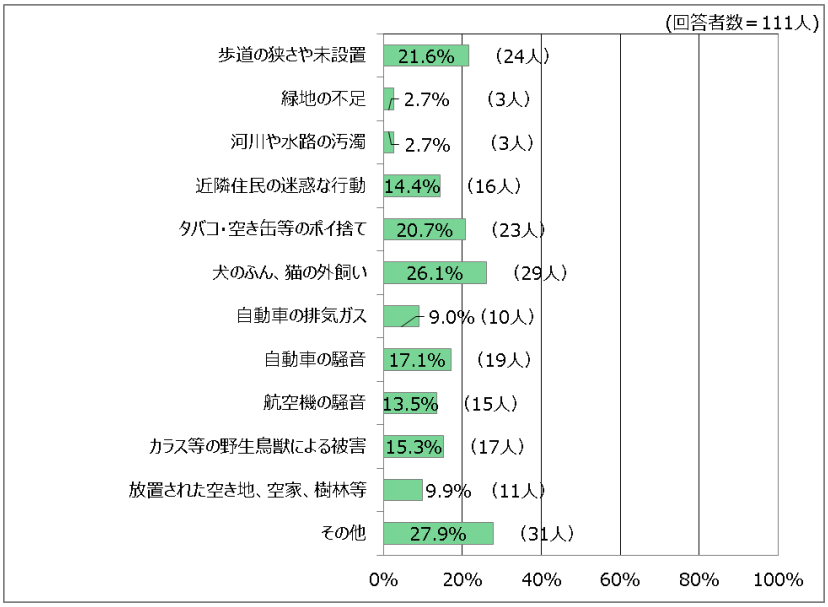
① 大気に関するすべての項目で環境基準を達成しています。
② 水素イオン濃度（pH）以外は、環境基準を達成しています。pH は、基準値を超える測定結果が多くありました。3 河川ともアルカリ側に超過しており、藻の光合成の影響と考えられます。
③ 居住地の周辺環境に満足している市民の割合は、2018 年度から 6.9 ポイント、基準年からは 9.6 ポイント増加しており、2021 年度の目標も達成しました。

市民アンケート結果の紹介　　居住地の周辺環境について

Q.　あなたがお住まいになっている周辺の環境は、あなたにとって快適ですか。**達成目標 4-③**
※達成状況の中では、「大変快適」「快適」の回答を「満足」と読み替えて集計しています。



Q.「不快である」「大変不快である」を選んだ方、現在お住まいになっている周辺の環境について、気になっていることは何ですか。（2 つまで）



＜施策の取り組みの結果＞

取り組み結果の表記
◎：予定以上に進んだ　○：予定どおりに進んだ
△：あまり予定どおりに進まなかった　×：まったく予定どおりに進まなかった
－：取り組みなし（目標達成済又は終了した事業）

●重点事業（ P24-25 参照）

関連達成目標	番号	重点事業名	目標	基準年度状況(値)（2015年度）	2019年度			目標(値)（2021年度）
					年度目標(値)	実績値	取り組み結果	
①	22	自転車利用環境の整備	自転車走行空間整備延長	1.37km(2016 年度)	2018年度に選定した箇所に自転車レーンの設置（町田95号線・749号線）	2.94km	○	3.03km
②	23	下水道未整備箇所の汚水管整備の推進	下水道人口普及率の増加	98.5%	98.9%	98.8%	○	99.0%
②	24	下水処理水の水質向上	高度処理化率の増加(段階的高度処理を含む)	9.8%	鶴見川クリーンセンター高度処理施設の安定稼働	30.0%	◎	20.6%
③	25	有害化学物質の適正管理・処理の指導	全対象事業場57箇所(2016年3月31日時点)への継続監視	－	20件/年	25件/年	○	20件／年
③	26	生活風景宣言等による良好な景観づくり	「生活風景宣言」件数の増加	－	生活風景宣言1件	0件	△	5件(2020年度)

代表的なものや、補足説明が必要と考える事業について以下に示します。

【重点事業　22】　　自転車利用環境の整備

大気汚染物質を排出しない自転車の利用を促進するため、自転車走行空間の整備を実施しています。2019 年度も予定通りの自転車レーン設置を行いました。
（町田 95 号線、749 号線）
※自転車レーンの設置による効果について、歩道を通行する自転車が減り、歩行者の安全性が向上したり、自動車・バイク等と自転車との通行位置が明確となり、双方の安全性が向上するなどがあります。

自転車レーン（町田95号線・町田749号線）

【重点事業　24】　　下水処理水の水質向上

鶴見川クリーンセンターにおいて、新たに稼働した高度処理施設の運転を行った結果、窒素含有量、りん含有量が低減しました。成瀬クリーンセンターにおいて、新しい高度処理技術に関する実証研究の施設が完成し、運転を開始しました。2019 年度は以上のような取り組みで良好な水質（下水処理水の向上）の確保に繋げました。

●その他の施策（ P46-52 参照）

	関連達成目標	取り組み結果(取り組み数)				
		◎	○	△	×	－
基本目標4	①	2	12	1	0	0
	②	1	11	0	0	0
	③	2	26	0	0	2
	計	5	49	1	0	2

※複数の達成目標に関連する施策の場合は、重複してカウントしています。

基本目標５　環境に配慮した生活スタイルの定着　～学び・協働で進めるまちづくり～

＜達成目標の進捗状況＞

2021年度までの達成目標	達成状況			
	基準年	2018年度	2019年度	2021年度
①環境に配慮した行動を行っている市民の割合（2011年度、40.7%）の10ポイント増の50.7%を目指します。	40.7%	37.5%	38.9%	50.7%
②市内の小中学校での環境教育や環境配慮行動の100%実施を目指します。	100%	100%	100%	100%
③環境学習や環境に関するイベント等に積極的（いつも・ときどき）に参加する市民の割合（2011年度、10.6%）の7ポイント増の17.6%を目指します。	10.6%	14.2%	13.0%	17.6%

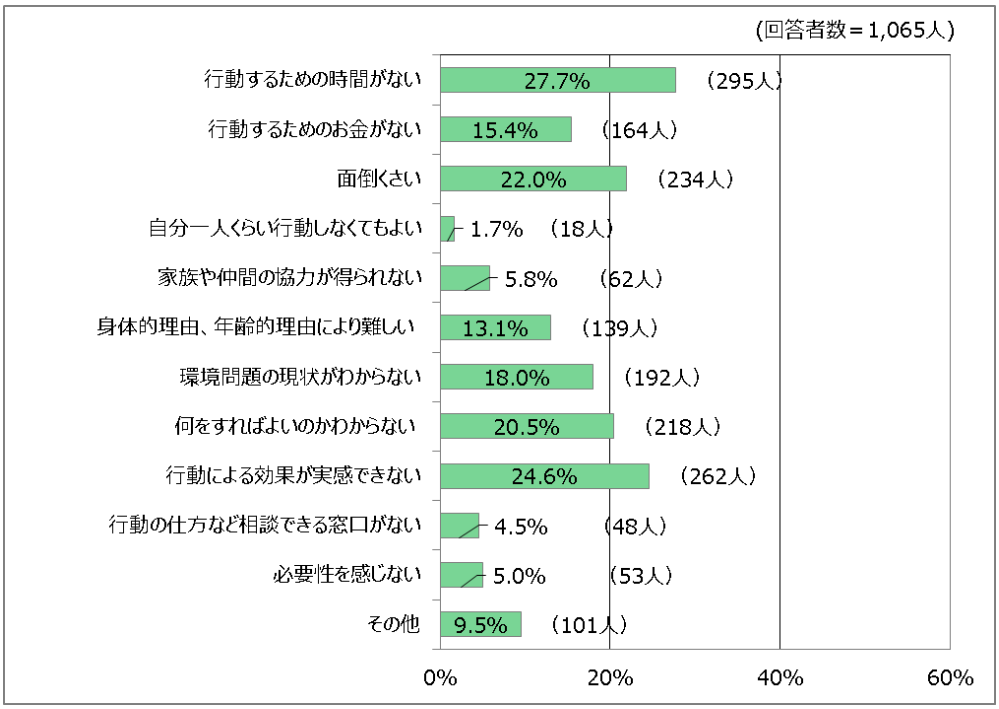
① 環境に配慮した行動を行っている市民の割合は 2018 年度から 1.4 ポイント増加しました。
② 市内の小中学校における環境学習は全校で継続的に行われており、定着しています。
③ 環境学習や環境に関するイベントへの参加率は 2016、2017 年度の 15.1%をピークに減少傾向です。

市民アンケート結果の紹介　**環境に配慮した行動について**

Q.　あなたのご家庭ではどのような環境に配慮した行動を行っていますか。

環境に配慮した行動の設問 22 項目の内、環境に配慮している項目（いつもやっているの割合）のベスト 3 は、分別をして資源とごみを出す 91.5%、たばこの吸殻やあきびん、あきかんなどのポイ捨てはしない 85.1%、白色発泡トレイやペットボトルなどはリサイクルされるよう正しく出す 84.6%でした。

Q.環境に配慮した行動を行う上で、「難しい点」「取り組みが行えない・行わない」理由は何ですか。（2 つまで）



環境配慮行動を行う上で、「難しい点」「取り組みが行えない・行わない」理由は、「行動するための時間がない」が最も多く 27.7%でした。次いで、「行動による効果が実感できない」24.6%、「面倒くさい」22.0%、となっています。

＜施策の取り組みの結果＞

取り組み結果の表記
◎：予定以上に進んだ　○：予定どおりに進んだ
△：あまり予定どおりに進まなかった　×：まったく予定どおりに進まなかった
－：取り組みなし（目標達成済又は終了した事業）

●重点事業(P26-27 参照)

関連達成目標	番号	重点事業名	目標	基準年度状況(値)（2015年度）	2019年度			目標(値)（2021年度）
					年度目標(値)	実績値	取り組み結果	
②	27	環境副読本を活用した環境教育の実施	環境副読本の市内公立全小学校での活用	－	39校	39校	○	市内公立全小学校42校
①③	28	子ども向け環境講座のプログラムの企画・実施	新たなプログラムの企画・実施による環境学習の充実	既存プログラムの改善 新規プログラムの実施	子ども向けプログラムの企画・実施による環境学習の充実	既存プログラムの改善 新規プログラムの実施	◎	新たなプログラムの企画・実施による環境学習の充実
①	29	まちだエコ宣言制度の推進	まちだエコ宣言制度への参加事業者数の増加	67店・事業所	70店・事業所	60店・事業所	△	100店・事業所
①	30	ホームページの充実による情報集約・発信	エコページへのアクセス数の増加	3,987件	エコページへのアクセス数　5,000件以上 ※SNSへの「いいね！」の数を含む	7,940件 （ホームページ2,935、SNS5,005）	◎	8,000件
			分野別・年代別環境学習一覧の作成	－		環境学習一覧の更新		環境学習一覧の作成(2018年度)
①	31	ごみ減量サポーターの地域活動支援	ごみ減量サポーターが主体となり、出前講座やリサイクル広場の開催、大型生ごみ処理機導入を行う団体数の増加	－	地域活動団体数　20団体	17団体	△	10団体/年

代表的なものや、補足説明が必要と考える事業について以下に示します。

【重点事業　28】　　子ども向け環境講座プログラムの企画・実施

2019 年度は学校ビオトープを活用した出前授業（4 回）、薬師池公園での野外イベント「ザリガニ釣り」、子ども向け環境学習イベント「消えた昆虫の謎」、子どもセンターでの環境学習、燃料電池自動車を活用した水素学習の出前講座（4 回）を実施するなど、環境に関する実験や体験を重視した子ども向けの環境講座のプログラム企画等を多く実施し、子ども達への学習機会の充実を図ることができました。

【重点事業　30】　　ホームページの充実による情報収集・発信

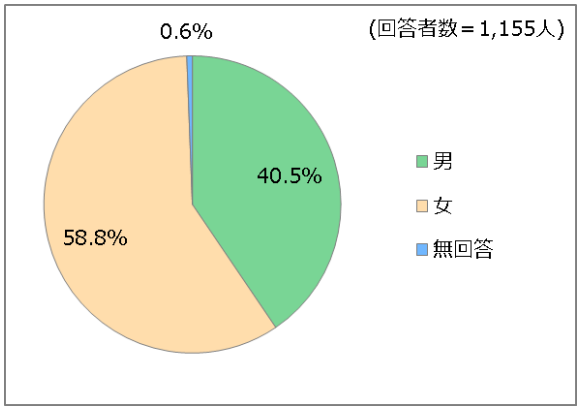
インスタグラム（SNS）を活用した新たな情報発信を開始しました。インスタグラムではユーザーネームを「ハスのん」としてタイムリーに環境に関するニュースやイベント情報を発信し、市民にエコに関する情報を届けました(2019 年度はフォロワー236、いいね！の数 5,005、投稿回数 141)。また、インスタグラムが効果的であったことから、更なる情報発信の強化を図るため、年度の途中からツイッターを開始しました。

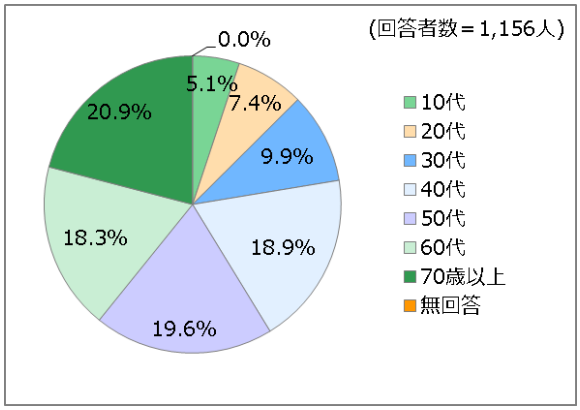
●その他の施策(P52-56 参照)

	関連達成目標	取り組み結果(取り組み数)				
		◎	○	△	×	－
基本目標5	①	0	20	1	0	1
	②	0	3	0	0	0
	③	0	11	1	0	0
	計	0	34	2	0	1

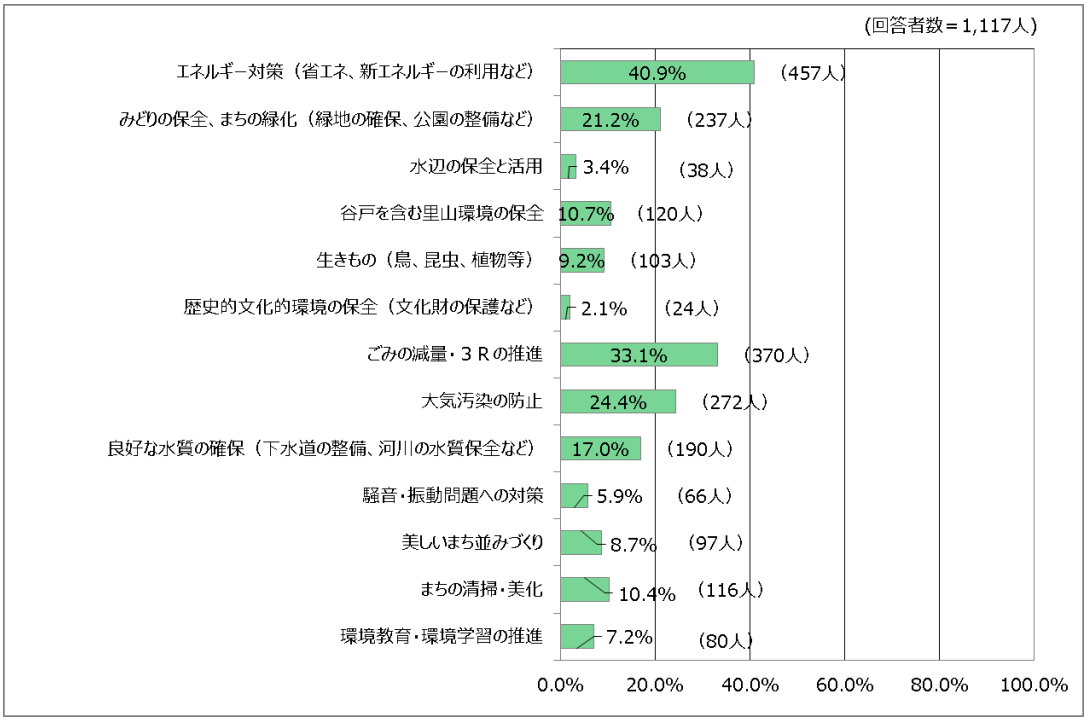
※複数の達成目標に関連する施策の場合は、重複してカウントしています。

（参考）市民アンケート結果の一部抜粋

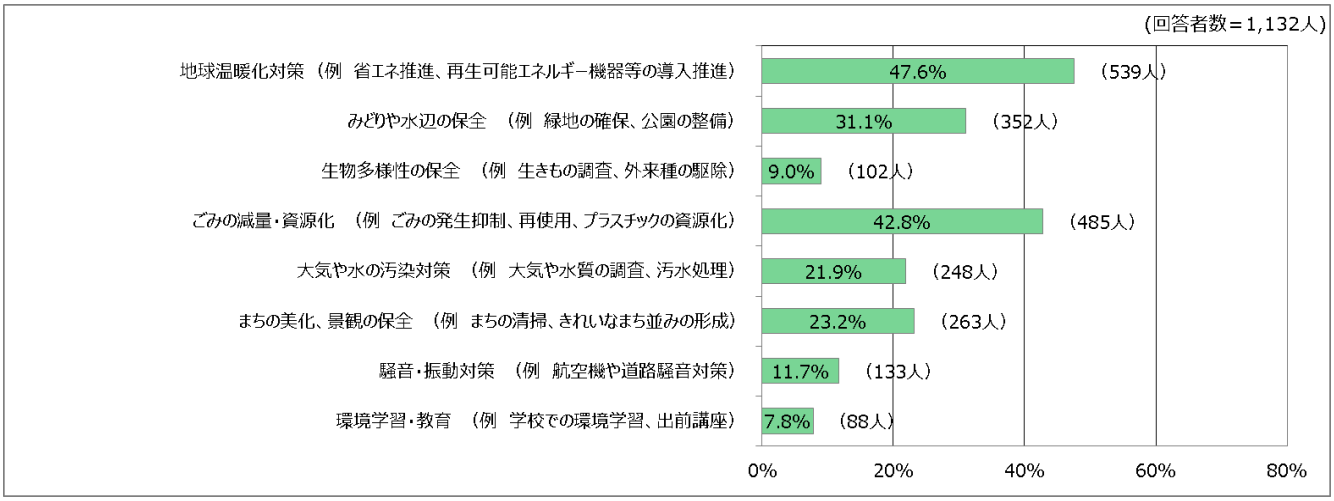




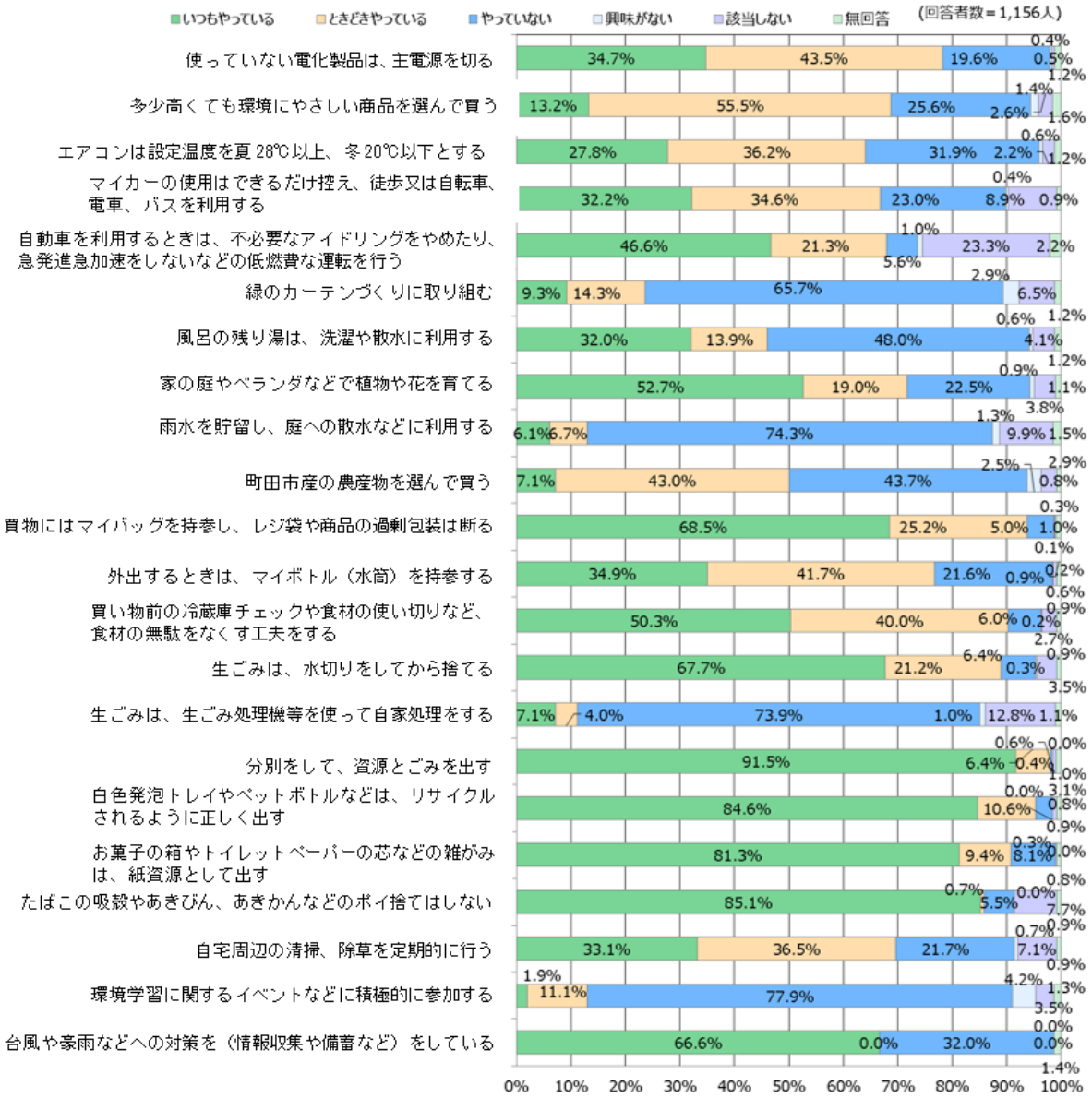
Q　環境に関する取り組みで、あなたが特に関心がある分野は何ですか。
（最大 2 つまで選択可能）



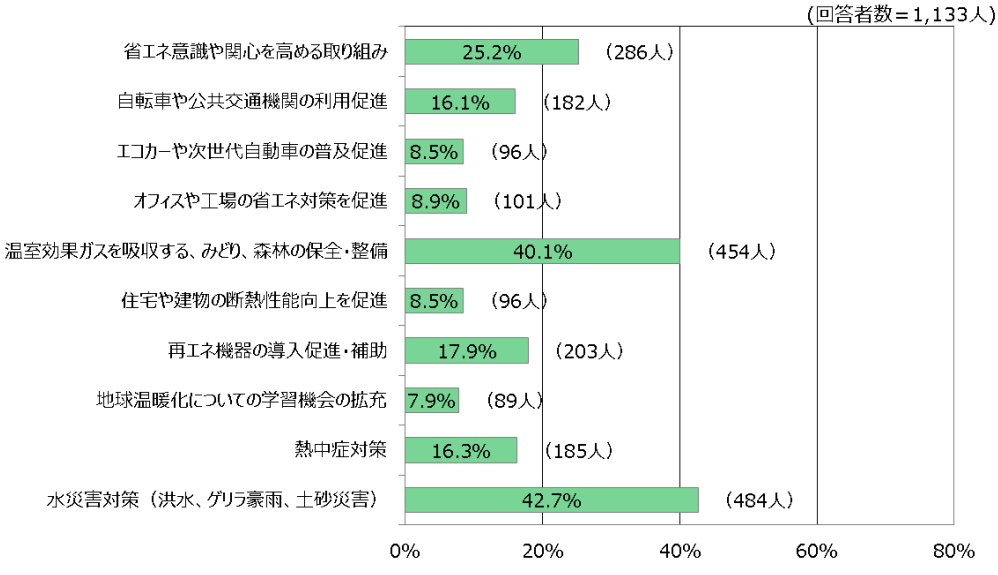
Q　町田市が行っている環境全般に関する取り組みの中で今後も力を入れていくべきもの
（最大 2 つまで選択可能）



Q　あなたはご家庭でどのような環境に配慮した行動を行っていますか。



Q　地球温暖化対策として町田市に期待する取組は何ですか。
（最大２つまで選択可能）



（参考）第二次町田市環境マスタープラン　2019 年度取り組み結果一覧

基本目標に向けた事業の進捗状況

1. 重点事業

◆基本目標１．地域で取り組む地球温暖化の防止
～低炭素社会を目指すまちづくり～

事業名称	【1】「わたしのエコ宣言」による家庭での取り組み支援**【環境・自然共生課】**		
事業概要	・市民に、地球温暖化防止のために日常生活の中で行う取り組みを宣言してもらい、参加状況から二酸化炭素削減の合計量をホームページで公表し、参加者が効果を実感することにより更なる環境配慮行動の推進につなげます。		
2019 年度実施内容	・緑のカーテンイベントや環境月間イベントなどに出展することにより、多くの市民に賛同いただき、参加者は 3,387 人となり累計で 7,061 人となりました。		
目標	わたしのエコ宣言参加者の増加		
目標値	10,000 人	基準年度値	-
現状値	7,061 人	進捗度	★★★★☆

事業名称	【2】みどりのカーテン等の積極的な導入**【環境・自然共生課】**		
事業概要	市民団体「緑のカーテンプロジェクト」等と協働で、公共施設への緑のカーテン普及を図るとともに、家庭における緑のカーテン普及を推進します。		
2019 年度実施内容	・緑のカーテン育て方講習会（2 回）を行い、市民 16 名の参加がありました。 ・市庁舎前にて市民向けにゴーヤの苗の配布を行い、1020 世帯、4,057 苗を配布しました。また下小山田苗圃にて、施設、団体向けに 5,129 苗配布しました。 ・夏には、緑のカーテンの写真を広く募集し、生育状況や取組のようすを環境教育展などで展示しました。		
目標	①公共施設参加数の増加　②市民向け苗の配布数の増加		
目標値	①300 施設（延べ数）　②10,000 苗	基準年度値	①45 施設　②8,000 苗
現状値	①166 施設（延べ数）　②9,186 苗	進捗度	★★★☆☆

事業名称	【3】歩道の透水性舗装の整備**【道路整備課】**		
事業概要	雨水を浸透させることで地下水を保全し水循環の健全化を図るため、道路の新設や改良工事時に歩道の透水性舗装の整備を進めます。		
2019 年度実施内容	・成瀬駅北口広場において歩道部分の透水性舗装を行いました。		
目標	透水性舗装面積の増加		
目標値	34,240 ㎡	基準年度値	25,958 ㎡
現状値	33,627 ㎡	進捗度	★★★★☆

注）「目標値」「基準年度値」について
　　特に年度標記がない限り、「目標値」は 2021 年度、「基準年度値」は 2015 年度の値。
注）「進捗度」について（★の数について）
　　★☆☆☆☆　0・10%　　★★☆☆☆　20・30%　★★★☆☆　40・50・60%
　　★★★★☆　70・80・90%　　★★★★★　達成

事業名称	【4】路線バス利用環境整備**【交通事業推進課】**		
事業概要	公共交通利用を促進するため、バス路線網再編についてバス事業者及び関係機関との協議・調整を行い、路線バスの乗り継ぎ拠点を整備し、乗り継ぎ拠点を活用したバス路線網の再編を行います。		
2019 年度 実施内容	・バス路線網再編に向けて、バス路線網再編検討会を４回開催し、バス事業者との協議を進めましたが、バス路線網再編の構想とりまとめには至りませんでした。 ・乗継拠点整備に向けた基本設計を実施しました。		
目標	既存バス停を活用した乗り継ぎ拠点の整備完了		
目標値	既存バス停を活用した乗り継ぎ拠点の整備完了	基準年度値	協議開始
現状値	・バス事業者との調整実施 ・基本設計実施	進捗度	★★★☆☆

事業名称	【5】水素ステーションの誘致**【環境・自然共生課】**		
事業概要	燃料電池自動車普及のため、水素ステーションの市内誘致に向けた取り組みを進めます。		
2019 年度 実施内容	・市内の交通量が多い幹線道路沿いを中心にステーション適地の検討を行いました。 ・市内 5～6 箇所の誘致候補地を検討し、１箇所において土地所有者と事業者のマッチングに成功したものの決定には至りませんでした。		
目標	水素ステーションの誘致		
目標値	定置式または移動式１施設	基準年度値	―
現状値	誘致活動中	進捗度	★☆☆☆☆

事業名称	【6】エコドライブの周知、普及・啓発の実施**【環境・自然共生課】**		
事業概要	市域全体の温室効果ガス排出量の多くを占める自動車からの排出削減のため、エコドライブの周知、普及・啓発を行い、エコドライブを推進します。		
2019 年度 実施内容	・エコドライブガイドを環境月間やたまかんフェスタなどのイベントで市民に配布しました。 ・ホームページや ECO まちだを通じ、エコドライブの実践方法などを周知しました。 ・エコフェスタにおいて、ミライの試乗会の際にエコドライブを体感してもらいました。		
目標	エコドライブ実践者の割合の増加		
目標値	エコドライブ実践者の割合 2015 年度比 10 ポイント増	基準年度値	42.8%
現状値	46.6%	進捗度	★★☆☆☆

事業名称	【7】特別緑地保全地区等の指定拡大**【公園緑地課】**		
事業概要	二酸化炭素の吸収源としてみどりを確保するため、特別緑地保全地区等の指定拡大を目指します。		
2019 年度 実施内容	・図師南特別緑地保全地区用地の取得を予定通り実施いたしました。		
目標	特別緑地保全地区の面積の増加		
目標値	46.0ha	基準年度値	43ha
現状値	47.5ha	進捗度	★★★★★

◆基本目標２．自然環境と歴史的文化的環境の保全
～水とみどりと生物を守り育むまちづくり～

事業名称	【８】都市計画公園の用地取得・整備**【公園緑地課】**		
事業概要	市内のみどりの拠点となる都市公園として、町田薬師池公園四季彩の杜　西園・北園、野津田公園、芹ヶ谷公園の整備を進めます。		
2019 年度 実施内容	・薬師池公園　　四季彩の杜西園及びウェルカムゲートの整備工事が完了しました。 ・野津田公園　多目的グラウンド・テニスコート実施設計が完了し、多目的グラウンドの整備工事に着手しました。 ・芹ヶ谷公園　整備工事（１期）が完了しました。		
目標	・町田薬師池公園四季彩の杜　西園の整備完了 ・野津田公園、芹ヶ谷公園の一部整備完了		
目標値	・薬師池公園四季彩の杜整備完了 西園（2019 年度）・北園（2023 年度） ※周辺施設を含めた新たな事業展開の検討のため、北園の整備目標年度を修正（当初目標は 2021 年度） ・一部整備完了 野津田公園（2021 年度） 芹ヶ谷公園（2019 年度）	基準 年度値	―
現状値	・薬師池公園　西園整備工事完了 ・野津田公園　多目的グラウンド整備工事着手 ・芹ヶ谷公園　整備完了	進捗度	★★★☆☆

事業名称	【９】水辺の魅力の発信**【環境・自然共生課】【公園緑地課】**		
事業概要	市民の水辺に対する関心を高め、水辺の保全・活用を進めるため、水辺の魅力について情報発信を行います。		
2019 年度 実施内容	・ＥＣＯまちだに水辺の生物に関する記事（コガモ紹介）を掲載しました。 ・薬師池公園でザリガニ釣りを実施し、参加者に対して外来生物に関する講義も行いました。 ・「まちだ○ごと大作戦 18－20」に協力し、湧水調査を進める団体のチラシをイベントや窓口で配布しました。 ・ホームページのコンテンツに湧水の写真を追加し、更新しました。**【環境・自然共生課】** ・市民に向けて自然観察会（植物、昆虫、野鳥）を行いました。**【公園緑地課】**		
目標	情報発信回数の増加		
目標値	20 回	基準年度値	―
現状値	環境・自然共生課 4 回、公園緑地課 15 回	進捗度	★★★★☆

事業名称	【10】生物多様性情報拠点機能の構築・充実**【環境・自然共生課】**		
事業概要	町田市の生物多様性に関する情報や資料の収集・発信の拠点（生物多様性センター）の機能整備・充実を図ります。		
2019 年度 実施内容	・市民通報アプリ「まちピカ町田くん」の撮影機能を活用し、市民が撮影した生きものの写真を「生きもの発見レポート」として収集しました。（件数 995 件） ・集めた情報をホームページに掲載しました。（更新回数 42 回） ・収集した写真をまとめた冊子「まちだ生きものアルバム」を発行しました。 ・アプリと連動した企画「町田生きもの探しキャンペーン」を実施しました。 ・忠生公園自然観察会とのコラボによるスマホでの写真講習会を実施しました。 ・ホームページの「町田の生物多様性のページ」をリニューアルしました。		
目標	生物多様性情報拠点機能の整備・充実		
目標値	生物多様性情報拠点機能の整備・充実	基準年度値	内容方向性の検討
現状値	アプリを活用した情報発信・活動の充実	進捗度	★★★★★

事業名称	【11】北部丘陵の整備**【農業振興課】**		
事業概要	北部丘陵が持つ資産を磨き、地域の価値を高めるため、手入れの届かない山林を再生保全し、持続性のある仕組みをつくり、さらなる環境整備等を行います。		
2019 年度 実施内容	・里山保全に関する協定について、上小山田町田中谷戸周辺の既存の協定締結団体から協定区域を 3,565 ㎡広げたい旨の要望があり、協定を変更しました。		
目標	新たな取り組みにより維持管理や活用が図られた山林等の面積の増加		
目標値	5,000 ㎡	基準年度値	―
現状値	22,673 ㎡	進捗度	★★★★★

事業名称	【12】遊休農地のあっせん**【農業振興課】**		
事業概要	休耕している農地を耕作希望者にあっせんすることで遊休農地の活用を図り、農業振興を行います。		
2019 年度 実施内容	・2020 年 1 月に農地バンク公開を行い、2020 年 4 月 1 日付けの新規農地あっせんが 7 件（12,073 ㎡）成立しました。 ・青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的として、経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して町田市農業次世代人材投資資金（旧名：青年就農給付金）を３名に交付しました（継続 2 名、新規 1 名）。		
目標	農地あっせん面積の増加		
目標値	20.0ha	基準年度値	14.3ha
現状値	17.9ha	進捗度	★★★☆☆

事業名称	【13】観光交流拠点を活用したイベントの実施**【観光まちづくり課】**		
事業概要	観光交流拠点で実施するイベントを通じて、地域の歴史・自然・文化を情報発信するとともに、次世代への継承に寄与します。		
2019 年度 実施内容	・今年度は、「七夕飾り」などの新規展示会を３回実施しました。 ・子育て世代をターゲットに「里山農業体験」や「親子流しうどん体験」等を実施し、世代交代への継承を図りました。		
目標	小野路宿里山交流館での自然や歴史・文化に関するイベント実施回数の増加		
目標値	40 回／年	基準年度値	32 回／年
現状値	37 回／年	進捗度	★★★☆☆

◆基本目標３．持続可能な循環型社会の構築
～ごみを減らし資源を有効活用するまちづくり～

事業名称	【14】　情報発信拠点としてのリサイクル広場の活用【３R推進課】		
事業概要	リサイクル広場を情報発信拠点と位置づけ「地域リサイクル広場」を拡充・拡大し開催回数を増やす中で、効果的に様々な情報発信を行います。		
2019 年度実施内容	・リサイクル広場を定期的に中心市街地で開催することができました。（市庁舎（６月環境月間、10 月エコフェスタ）、町田シバヒロ（２月））		
目標	①リサイクル広場開催箇所数の増加　②リサイクル広場来場者数の増加		
目標値	①23 ヶ所（2020 年度） ②36,000 人（2020 年度）	基準年度値	①17 ヶ所（2014 年度） ②30,000 人（2014 年度）
現状値	①23 ヶ所 ②31,546 人	進捗度	★★★☆☆

事業名称	【15】ごみ減量に関する出前講座の充実【３R推進課】		
事業概要	ごみの減量についての意識の向上を図るため、地域や学校、幼稚園などへのごみについての出前講座を継続して開催します。また、講座内容の充実を図ります。		
2019 年度実施内容	・幼稚園・保育園 52 回、学童保育クラブ 17 回、小学校 35 回、町内会自治会等で 14 回実施し、保育園・幼稚園、小学校では保護者向けの手紙を渡すことで子育て世代の大人への啓発ができました。イベントでの３R公開講座を 10 回実施しました。		
目標	出前講座実施回数の増加		
目標値	150 回／年（2020 年度）	基準年度値	104 回／年（2014 年度）
現状値	128 回／年	進捗度	★★★☆☆

事業名称	【16】食品ロスの啓発等、各種キャンペーンの実施【３R推進課】		
事業概要	ごみの発生抑制を図るため、全国的な食品ロスの状況や町田市のごみの現状について各種機会を通じて伝えることで「もったいない意識」を啓発します。		
2019 年度実施内容	・「今が食べごろめしあがれキャンペーン」（６回）、食品ロス削減チラシ配布（１回）を市内スーパー店頭で実施しました。 ・従来の実施場所から変更してのサイズダウンキャンペーン（５回）、水切りキャンペーン（10 回）を実施。食品ロス削減をテーマにした展示を実施しました。（さくらまつり、食育フェス、防災フェアの３回） ・使い切り料理教室を実施しました。（２回） ・年末年始宴会食べきりキャンペーンを実施し市施設、リサイクル推進店の他神奈川中央交通バス車内にポスターを掲示しました。（１回） ・食品衛生講習会にて食品ロス削減及び食べきり協力店のＰＲを実施しました。（11 回）		
目標	キャンペーンの実施回数の増加		
目標値	20 回／年（2020 年度）	基準年度値	12 回／年（2014 年度）
現状値	39 回／年	進捗度	★★★★★

事業名称	【17】事業所向けの情報提供の実施【３R推進課】		
事業概要	丁寧できめ細かな情報提供のために「ごみ排出事業所」向けの説明会を実施するとともに、廃棄物の基本情報から事業コスト軽減に役立つ情報等を併せた、適正処理ルールブックを作成し、戸別訪問での啓発活動を実施します。		
2019 年度 実施内容	・59 件の大規模事業所に対し、訪問指導を実施しました。なお南町田グランベリーパークについては、オープン前の 10 月８日、オープン後の３月 17 日に訪問指導を行いました。 ・少量排出事業者の登録時の指導等、合計 111 件の中小事業所への訪問指導を実施しました。 ・排出事業者向けの説明会を１回実施しました。 ・中規模事業所の減量策として、一般廃棄物へのプラ混入防止を訴えるチラシを作成しました。 ・事業所用のごみ箱の分別ラベルを作成し、ホームページで公開しました。		
目標	①説明会開催回数　　②市内事業所への訪問件数の増加		
目標値	①１回/年（2020 年度） ②190 件/年（2020 年度）	基準年度値	①ー ②ー
現状値	①1 回/年　②170 件/年	進捗度	★★★★☆

事業名称	【18】生ごみ処理機の導入促進【３R推進課】		
事業概要	生ごみの資源化を進めてごみの発生抑制を図るため、たい肥化容器や生ごみ処理機の購入補助制度などを活用し、生ごみ自家処理の普及を進めます。		
2019 年度 実施内容	・家庭用生ごみ処理機については、120 名の方が補助制度を利用しました。 ・大型生ごみ処理機については、新たな設置はできませんでしたが、2020 年度設置に向けて協議を進めました。 ・ダンボールコンポストについては、新規講習会を 17 回（市民向け 12 回、町内会向け２回、学童向け３回）、この他に市民向け講習会の受講者を中心としたグループによる講習会を１回開催しました。参加者はのべ 119 名、総配布数 143 個でした。		
目標	生ごみ自家処理世帯数の増加		
目標値	14,981 世帯（2020 年度）	基準年度値	1,831 世帯（2014 年度）
現状値	3,453 世帯	進捗度	★☆☆☆☆

事業名称	【19】ごみ・資源の新たな効果的な収集方法の検討【３R推進課】		
事業概要	新たなごみの資源化施設の稼動により収集品目(容器包装プラスチック)が増え、またごみの資源化施設が分散（３ヶ所）するため、稼動時期に合わせた収集方法等を検討します。		
2019 年度 実施内容	・2020 年度からの不燃ごみの直営収集開始に向け、収集ルートの作成や車両の架装等準備を行いました。 ・2025 年度に予定しているごみの資源化施設の稼働開始に合わせた収集方法の検討のため、他市の収集方法に関して電話でのヒアリングや視察を行いました。		
目標	効果的な収集方法の確立		
目標値	効果的な収集方法の確立（2025 年度）	基準年度値	ー
現状値	収集体制の見直し	進捗度	★☆☆☆☆

事業名称	【20】熱回収施設等の整備**【循環型施設整備課】**		
事業概要	ごみの減量と資源化を進めるため、市民協働により策定した「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき、町田リサイクル文化センター敷地内に熱回収施設等（焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設）の整備を進めます。		
2019 年度 実施内容	•2018 年８月から建設工事を実施しています。掘削工事と地下躯体工事を完了し、地上躯体工事とプラント工事を開始しました。 ・地区連絡会を３回実施し建設地周辺住民への情報提供を行うと共に、現場見学会を実施しました。		
目標	熱回収施設等の整備、稼動開始		
目標値	稼動開始	基準年度値	事業者候補者選考委員会の開催、整備運営事業者の選定
現状値	地上躯体工事とプラント工事の実施	進捗度	★★☆☆☆

事業名称	【21】資源ごみ処理施設の整備**【循環型施設整備課】**		
事業概要	ごみの減量と資源化を進めるため、市民協働により策定した「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき、相原地区、上小山田地区に容器包装プラスチックやビン・カン、ペットボトル等を資源化する施設の整備を進めます。		
2019 年度 実施内容	・用地取得に向けて、関係者との調整を行うとともに、調査測量に着手しました。【相原】 ・地区連絡会を開催し、施設建設に関する協議を進めました。【相原、上小山田】		
目標	①資源ごみ処理施設（相原）の整備、稼動開始 ②資源ごみ処理施設（上小山田）の整備、稼動開始		
目標値	①稼動開始（2025 年度） ②稼動開始（2027 年度） ※2018 年３月に稼働開始目標年度の見直しを行いました（当初目標は 2020 年度）。	基準年度値	①要求水準書案の作成準備 ②施設計画等検討
現状値	関係者等と調整中	進捗度	★☆☆☆☆

◆基本目標４．良好な生活環境の創造
～安全で快適な暮らしを実現するまちづくり～

事業名称	【22】自転車利用環境の整備**【道路政策課】【道路整備課】**		
事業概要	大気汚染物質を排出しない自転車の利用を進めるため、自転車走行空間の整備を進めます。		
2019 年度 実施内容	・町田 95 号線・749 号線で自転車レーン設置工事を実施しました。 ・次期自転車レーン設置箇所（ 町田 414 号線・664 号線）の検討及び警視庁協議を進めました。**【道路政策課】** ・町田 95 号線・７４９号線で自転車レーン設置工事を実施しました。**【道路整備課】**		
目標	自転車走行空間整備延長		
目標値	3.03km	基準年度値	1.37km（2016 年度）
現状値	2.94km	進捗度	★★★★☆

事業名称	【23】下水道未整備箇所の汚水管整備の推進**【下水道整備課】**		
事業概要	汚水を適正に処理し、河川水質の向上を図るため、下水道未整備箇所の下水道の整備を推進します。		
2019 年度実施内容	・公共下水道真光寺町汚水枝線工事ほか 1 案件の汚水枝線工事を実施しました。		
目標	下水道人口普及率の増加		
目標値	99.0%	基準年度値	98.5%
現状値	98.8%	進捗度	★★★☆☆

事業名称	【24】下水処理水の水質向上**【水再生センター】**		
事業概要	下水処理場（鶴見川クリーンセンター）に高度処理施設を増設することにより、下水処理水の水質向上を図ります。		
2019 年度実施内容	・鶴見川クリーンセンターにおいて、新たに稼働した高度処理施設の適切な運転を行った結果、窒素含有量、りん含有量共に低減することが出来ました。 ・成瀬クリーンセンターにおいて、新しい高度処理技術に関する実証研究の施設が完成し、運転を開始しました。		
目標	高度処理化率の増加（段階的高度処理を含む）		
目標値	20.6%	基準年度値	9.8%
現状値	30.0%	進捗度	★★★★★

事業名称	【25】有害化学物質の適正管理・処理の指導**【環境保全課】**		
事業概要	有害物質使用特定事業場からの土壌・地下水汚染を未然に防止するため、継続的に指導を行い、事業者の適正な有害物質の管理・使用を促します。		
2019 年度実施内容	・昨年度までの立入指導結果を踏まえ、4 月に立入計画を立案しました。 ・立入計画に挙げていた事業場と今年度施設の新設や変更を行った事業場等合わせて 25 件の事業場に対し立入を行い、有害物質を使用している機械の構造基準や使用方法に関して指導しました。 ・必要な届出が提出されていない事業場に対して届出指導を行い、提出を促しました。		
目標	全対象事業場 57 箇所（2016 年 3 月 31 日時点）への継続監視		
目標値	20 件／年	基準年度値	―
現状値	25 件／年	進捗度	★★★★★

事業名称	【26】生活風景宣言等による良好な景観づくり**【地区街づくり課】**		
事業概要	景観という言葉の浸透を目指し、身近な取り組みで「まちの美化」につながる取り組みを宣言してもらう「生活風景宣言」を制度として推進していきます。意識の高まりに合わせて、景観協定の締結や地域景観資源の登録につなげていきます。		
2019 年度実施内容	・生活風景宣言の登録に向け、登録手順、登録要件、登録チェックシート等をまとめました。		
目標	「生活風景宣言」件数の増加		
目標値	5 件（2020 年度）	基準年度値	―
現状値	0 件	進捗度	★☆☆☆☆

◆基本目標５. 環境に配慮した生活スタイルの定着
～学び・協働で進めるまちづくり～

事業名称	【27】環境副読本を活用した環境教育の実施**【指導課】【環境政策課】**		
事業概要	市内公立小学校の授業や自宅学習で環境副読本を活用し、環境問題への意識を高めるとともに、町田市の環境についても考える機会を提供します。		
2019 年度実施内容	・12 月に活用状況を確認するアンケートを市内公立全小学校（42 校）で実施しました。その結果を受け、３月に校長会で活用事例の紹介を行いました。**【指導課】**		
	・12 月に活用状況を確認するアンケートを市内公立全小学校（42 校）で実施しました。その結果を受け、3 月に校長会で活用事例の紹介を行いました。3R 推進課が行う「ごみと環境の出前講座」で環境副読本を事前・事後の学習で使用したという事例が多かったため、今後も3R 推進課とも協力して事業を推進していきます。さらに、２０１９年度から環境・自然共生課が行う「水素自動車と環境の出前講座」でも環境副読本の活用を始めました。**【環境政策課】**		
目標	環境副読本の市内公立全小学校での活用		
目標値	市内公立全小学校 42 校	基準年度値	―
現状値	39 校	進捗度	★★★★☆

事業名称	【28】子ども向け環境講座のプログラムの企画・実施**【環境・自然共生課】**		
事業概要	子どもへの環境学習を進めるため、環境に関する実験や体験を重視した子ども向け環境講座のプログラムを企画・実施し、学習機会の充実を図ります。		
2019 年度実施内容	・学校ビオトープを活用した出前授業を実施しました。（4 回） ・薬師池公園での野外イベント「ザリガニ釣り」を実施しました。 ・子ども向け環境学習イベント「消えた昆虫の謎」を実施しました。 ・子どもセンターつるっこで環境学習を実施しました。 ・燃料電池自動車を活用した水素環境学習を実施しました。（4 回）		
目標	新たなプログラムの企画・実施による環境学習の充実		
目標値	新たなプログラムの企画・実施による環境学習の充実	基準年度値	既存プログラムの改善 新規プログラムの実施
現状値	既存プログラムの改善 新規プログラムの企画・実施	進捗度	★★★★★

事業名称	【29】まちだエコ宣言制度の推進**【環境・自然共生課】**		
事業概要	事業者と市の協働による環境配慮活動の推進に向け、自主的に環境配慮活動（エコ活動）を行っている事業者がその取り組み内容を宣言（エコ宣言）し、市に登録します。市は、その取り組み内容を市民や他の事業者に広く PR し、更なる環境配慮型の事業活動及び消費活動を促進します。		
2019 年度実施内容	・環境白書で取組のようすを紹介しました。 ・エコ宣言参加事業者に年度末に活動報告を提出してもらい、それぞれの活動報告をまとめ、ホームページで紹介しました。 ・新規登録を促すチラシを新たに作成し、登録の流れを図表で示し、加入促進に向けて登録するメリットの見直しを行いました。		
目標	まちだエコ宣言制度への参加事業者数の増加		
目標値	100 店・事業所	基準年度値	67 店・事業所
現状値	60 店・事業所	進捗度	★☆☆☆☆

事業名称	【30】ホームページの充実による情報集約・発信**【環境政策課】**		
事業概要	町田市ホームページに作成した「エコページ」を活用し 環境情報の収集・発信を強化します。また、分野別・年代別など、わかりやすい情報発信を行います。		
2019 年度 実施内容	・インスタグラムを活用した新たな情報発信を開始しました。インスタグラムではユーザーネームを「ハスのん」として、タイムリーに環境に関するイベント情報を発信したり、エコに関する情報を市民に届けました（2019 年度はフォロワー数 236、いいね！数 5005、投稿回数 141）。 ・インスタグラムが効果的であったことから、更なる情報発信の強化を図るため、年度の途中からツイッターを開始しました。		
目標	①エコページへのアクセス数の増加　　②分野別・年代別環境学習一覧の作成		
目標値	①8,000 件 ②環境学習一覧の作成（2018 年度）	基準年度値	①3,987 件 ②　－
現状値	①7,940 件（2,935 件） ※ＳＮＳの「いいね！」の数を含む。（）内はエコページのアクセス数のみ。 ②環境学習一覧作成済み	進捗度	★★★★☆

事業名称	【31】ごみ減量サポーターの地域活動支援**【３Ｒ推進課】**		
事業概要	町内会・自治会で、出前講座やリサイクル広場、ダンボールコンポスト説明会等を開催するなど、「ごみ減量サポーター」がそれぞれの地域で、ごみ減量をすすめ、地域で活躍する取り組みを支援します。		
2019 年度 実施内容	・ごみ減量サポーターが主体となって行った活動は以下の通りです。 〇地域リサイクル広場　７団体（内１件は天候不順により直前で中止） 〇出前講座　９団体 〇ダンボールコンポスト講習会　１団体 ・ごみ減量サポーターに対し、研修会と施設見学会を各１回ずつ 11 月に実施しました。		
目標	ごみ減量サポーターが主体となり、出前講座やリサイクル広場の開催、大型生ごみ処理機導入を行う団体数の増加		
目標値	10 団体／年	基準年度値	－
現状値	17 団体／年	進捗度	★★★★★

2. その他の施策

◆基本目標１．地域で取り組む地球温暖化の防止
～低炭素社会を目指すまちづくり～

（１） 地球温暖化防止の意識の浸透を図り、取り組みを促します

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成 目標
①地球温暖化対策の取り組みの情報を分かりやすく発信します		
パンフレットの配布、ホームページ等による地球温暖化対策の取り組みや助成制度等の情報提供	・イベント時に市民と事業者向けのエコ宣言などの呼びかけ、取り組みの紹介を行いました。 ・ホームページでは国や都で実施されている助成制度などの情報提供を行いました。 ・緑のカーテンイベントで「わたしのエコ宣言」を広く市民に呼びかけ、多くの市民にエコ宣言をしていただきました。**【環境・自然共生課】**	○ ①
地球温暖化対策の具体的な取り組みの周知	・広報まちだや ECO まちだ、ホームページ、イベントなどで情報提供を行いました。**【環境・自然共生課】**	○ ①
②温室効果ガス排出量やエネルギー使用量の「見える化」を進めます		
市の施設からの温室効果ガス排出量、エネルギー使用量の公表	・2018 年度の市域全体の温室効果ガス排出量を取りまとめ、12 月に「町田市環境白書 2019」を発行しました。また、市のホームページでも公表しました。**【環境政策課】**	○ ①
家庭でのエネルギー使用量を測定するための「省エネナビ」等の貸し出しの実施	・イベント時に家庭でできる取組みのひとつとして紹介し、７件の申し込みがありました。**【環境・自然共生課】**	○ ①
エネルギー使用測定のためのツールやアプリに関する情報の収集･提供	・国や他自治体、企業等のホームページや関係機関誌などから情報収集を行いました。**【環境・自然共生課】**	○ ①
③地域や市民の地球温暖化対策の取り組みを促進するための仕組みを運用します		
→重点事業１（「わたしのエコ宣言」による家庭での取り組み支援） P18 参照		

（２） 持続可能なエネルギー利用への転換を図ります

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成 目標
①公共施設における取り組みを進めます		
公共施設への再生可能エネルギー・省エネ機器の導入推進	・公共施設の改修等による機器の交換を行う際は、人感式センサー及び LED 照明や CO2 センサー、省エネタイプの空調機器などに交換することを基本とし、再生可能エネルギー・省エネ機器の導入を推進しまし	○

	た。引き続き、設計の際に LED 照明などの高効率機器の導入を検討するなど、再生可能エネルギー・省エネ機器の導入を推進します。**【営繕課】**	①②
	・町田第六小学校防音及びトイレ改修工事において、2018 年度から引き続いて節水型トイレやセンサー照明の改修を実施しました。**【施設課】**	○ ①②
ごみの資源化施設への再生可能エネルギーの導入推進	・2019 年度の取り組みはありませんでした。 ・仕様作成時に、検討した施設整備コンセプトを反映させていきます。**【循環型施設整備課】**	― ①②
未利用エネルギーの活用	・2022 年度から着手する焼却炉更新工事で、排ガスエネルギーを活用する方針を決定しました。**【水再生センター】**	○ ①②

注）「評価」について
◎：予定以上に実施できた　○：予定どおりに実施できた　△：あまり予定通りに実施できなかった
×：まったく予定通りに実施できなかった　－：取り組みなし（目標達成済み又は終了した事業）

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成 目標
街路灯・園内灯の省エネ化	・約 20,000 基の街路灯をLED 化しました。**【道路維持課】**	○ ①
	・市内公園の園内灯の 51%をＬＥＤ化しました。**【公園緑地課】**	○ ①
市庁舎の屋上緑化・壁面緑化	・支援事業者の指導を受け、低木・多年草の手入れが出来ました。 ・屋上花畑にブルーベリー苗を 80 本追加して植えました。**【市有財産活用課】**	○ ①
→重点事業２（みどりのカーテン等の積極的な導入）　P18 参照		
②家庭における取り組みを促進します		
市民を対象とした住宅用太陽光発電システムをはじめとする省エネ機器の情報提供による普及促進	・東京都・国による支援事業や省エネ機器の紹介を市ホームページで行いました。**【環境・自然共生課】**	○ ①②
家庭への省エネ機器等の導入支援の検討、情報提供	・東京都・国による支援事業や省エネ機器の紹介を市ホームページで行いました。**【環境・自然共生課】**	○ ①
→重点事業２（みどりのカーテン等の積極的な導入）　P18 参照		
③事業活動における取り組みを促進します		
事業活動における省エネの促進のための情報提供	・東京都・国による支援事業や省エネ機器の紹介を市ホームページや環境広報紙 ECO まちだで行いました。**【環境・自然共生課】**	○ ①
まちだエコ宣言制度の推進	・環境白書において、登録事業者の取組み紹介を行いました。 ・エコ宣言制度に登録することによるメリットを強調したデザインにチラシを刷新し、次年度以降、事業者が制度に参加しやすい環境整備を引き続き実施しました。**【環境・自然共生課】**	△ ①②
商店街街路灯のＬＥＤ化推進	・市内１商店街の街路灯をＬＥＤ化しました。**【産業政策課】**	○ ①
事業活動における再生可能エネルギーの導入、省エネ促進のための融資に係る利子の一部補助	・町田市中小企業融資制度において環境改善整備資金のメニューを設け、取扱金融機関等と連携し、事業者から求めがあった際にはメニュー内容についての説明を行いました。 ・取扱金融機関へ事務手引きを送付しました。**【産業政策課】**	○ ①②

（３） 地球温暖化防止に貢献するまちづくりを進めます

①町田市全体で取り組む、地球温暖化防止行動を進めます

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成 目標

①町田市全体で取り組む、地球温暖化防止行動を進めます		
→重点事業３（歩道の透水性舗装の整備）　P18 参照		
町田市のエネルギー利用の現状や、地球温暖化に関する学習機会の提供	・夏季に水素エネルギーに関する夏休み環境学習を実施し、小学校での出前講座を行うなど、小中学生を対象にした学習機会を提供しました。 ・なお、３月は新型コロナウイルスの影響により複数のイベントを中止としました。**【環境・自然共生課】**	○ ①
ライトダウン等節電意識向上のためのキャンペーンの実施	・2019 年度も相模原市、各団体との連携や調整が順調に進み、充実した事業とすることができました。**【環境・自然共生課】**	○ ①
②自動車利用を控え、公共交通利用を進めます【（４-[１]-③）で再掲】		
→重点事業４（路線バス利用環境整備）　P19 参照		
地域コミュニティバス等の運行	・市内４地区（相原、本町田、つくし野、高ヶ坂・成瀬）において小型乗り合い交通の導入に向けた実証実験運行を実施しました。**【交通事業推進課】**	○ ①②
市が開催するイベント時の公共交通利用の推進	・緑のカーテンイベントや環境学習などの催しで公共交通機関の利用を呼びかけました。**【環境・自然共生課】**	○ ①②

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成 目標
③低公害車の普及促進等を図ります【（４-［1］-④）で再掲】		
→重点事業５（水素ステーションの誘致）　P19 参照		
→重点事業６（エコドライブの周知、普及・啓発の実施）　P19 参照		
次世代自動車等の低公害車の普及促進	・電気自動車充電器の利用を促すとともに、燃料電池自動車の展示や、低公害車の仕組みについてのパネル展示、ホームページでのコンテンツ公開などにより、普及啓発を行いました。**【環境・自然共生課】**	○ ①
低公害車［天然ガス自動車・ハイブリッド車・電気自動車等］の公用車としての導入検討・実施	・旧環境基準の業務用車両 4 台を、現行基準に適合した車両に買い替えました。また、旧環境基準の業務用車両 26 台を現行基準に適合したリース車両に更新しました。**【市有財産活用課】**	○ ①
④自転車利用環境の整備を進めます【（４-［1］-⑤）で再掲】		
自転車走行空間の検討・整備	・自転車レーンを設置（L=330m）しました。**【道路政策課】**	○ ①③
	・自転車レーンを設置（L=330m）しました。**【道路整備課】**	○ ①③
自転車駐車場の整備	・自転車駐車場の建て替え等を含めた更新・運営方針を策定しました。**【道路管理課】**	○ ①③
市職員の近隣移動時の自転車利用の推進	・自転車利用のメリットを盛り込んだ掲示を行い、省エネの周知を図りました。**【環境・自然共生課】**	○ ①③
	・安全運転講習会で町田市職員安全運転ハンドブックを配布し、近距離の移動時はできるだけ自転車を利用するように周知しました。**【市有財産活用課】**	○ ①③
⑤町田の農産物の地産地消を推進します【（２-［4］-⑤）で再掲】		
学校給食での地場産農産物の利用推進	・小学校給食に地場産農産物に対する補助を行いました。新規にまち☆ベジメニューの日を２回実施しました。**【農業振興課】**	○ ①
まち☆ベジマップ（農産物直売所マップ）、まち☆ベジグルメ店なびの配布による地産地消 PR	・月２回の地場農産物の販売時、キラリ☆まちだ祭等で PR を行いました。**【農業振興課】**	○ ①

（４） 二酸化炭素の吸収源として、みどりの確保を推進します

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成 目標
①二酸化炭素吸収源を維持するため、緑地を保全します		
→重点事業７（特別緑地保全地区等の指定拡大）　P19 参照		

市内緑地の適正な維持管理	・草刈や樹木剪定等を適切に行い、緑地を保全しました。 ・緑地の一部の管理を業務委託し、事業者による日常点検を行うことで、倒木や枝折れ等の危険を予防し、適正な維持管理を行いました。**【公園緑地課】**	○ ①
街路樹の適正な維持管理	・枯損などにより欠損した植樹桝等に、計 850 株の低木を植栽し、連続した緑の確保を行いました。**【道路維持課】**	○ ①
②二酸化炭素吸収量の増加を図るため、緑化を推進します		
緑化推進に関連した対策の検討	・5 月中旬にゴーヤ苗の配布を行い、1,020 世帯、4,057 苗を配布しました。 ・取組んだ公共施設は 80 施設であり、合計 9,186 苗を配布しました。**【環境・自然共生課】**	◎ ①
	・他の施策を優先して進めており、具体的な検討が実施できませんでした。**【環境政策課】**	× ①

◆基本目標２．自然環境と歴史的文化的環境の保全
～水とみどりと生き物を守り育むまちづくり～

（１）みどりを守り、増やし、育て、活かす取り組みを進めます

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成 目標
①緑地の現状を把握し、公表します		
市内公園緑地等の調査の実施	・市内の公園緑地等の調査及び取りまとめを行いました。**【公園緑地課】**	○ ①
市域全体に対する緑地の割合の把握と公表	・取り組みはありませんでした。市域全体の緑地割合は、2021 年度の町田市緑の基本計画改定時に調査を予定しています。**【公園緑地課】**	― ①
②みどりの保全を進めます		
→重点事業８（都市計画公園の用地取得・整備）　P20 参照		
街路樹の適正な維持管理	・街路樹の定期管理により、適切な大きさと枝葉量を保ちました。**【道路維持課】**	○ ①
③身近なみどりを増やします		
街区公園の整備	・取り組みはありませんでした。**【公園緑地課】**	― ①
民間の施設における緑化の制度や基準［緑化基準等］の導入検討	・取り組みはありませんでした。【公園緑地課】	― ①
市庁舎の屋上緑化・壁面緑化	・支援事業者の指導を受け、低木・多年草の手入れが出来ました。 ・屋上花畑にブルーベリー苗を 80 本追加して植えました。**【市有財産活用課】**	◎ ①
みどりのカーテン等の積極的な導入	・5 月中旬にゴーヤ苗の配布を行い、1,020 世帯、4,057 苗を配布しました。 ・取組んだ公共施設は 80 施設であり、合計 9,186 苗を配布しました。**【環境・自然共生課】**	◎ ①
④市民協働による緑地の保全、維持管理を進めます		
公園や施設等の緑について、公益的活動団体による維持管理の運用支援	・7 団体が新たに活動を開始しました。**【公園緑地課】**	◎ ①
伐採木、伐採竹の製品化等による利用促進	・3 月に相原中央公園で親子向けに伐採木や竹を活用するイベントを企画しましたが、新型コロナウイルスの影響により中止としました。**【環境・自然共生課】**	△ ①
⑤緑地を保全しながら活用し、ふれあいの場を確保します		
自然観察会の開催、里山整備	・忠生公園自然観察センター、かしの木山自然公園において四季おりおりの	○

活動を体験できる場の提供	植物、昆虫、野鳥などを題材とした観察会を開催しました。 ・野津田公園において、指定管理者の自主事業として四季おりおりの植物、野鳥などを題材とした観察会を開催しました。**【公園緑地課】**	①③
	・鶴見川源流保水の森において、ＮＰＯと協働で小学生を対象とした植樹会を実施しました。**【農業振興課】**	○ ①③

（２）水辺の保全・活用と水循環の健全化を進めます

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成 目標
①水辺環境を保全します		
アダプト事業による高ヶ坂松葉調整池の維持管理作業の支援	・樹木の剪定や調整池の浚渫を通じ、高ヶ坂松葉調整池の維持管理作業の支援活動を行いました。**【下水道管理課】**	○ ②
②湧水地の保全、地下水保全のため、水源涵養域の保全、雨水の浸透を図ります		
鶴見川・境川・恩田川等の水源涵養域にある樹林地等の保全	・取り組みはありませんでした。**【公園緑地課】**	— ②

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成 目標
道路の新設や改良工事における、歩道部の透水性舗装の実施	・歩道の透水性舗装による整備を行いました。　A=437 ㎡**【道路整備課】**	○ ②
宅地開発・中高層建築物の雨水貯留施設設置の指導及び個人住宅の雨水浸透設備設置補助事業の普及促進	・雨水貯留施設について、宅地開発・中高層建築物に対して、4 件の指導を行いました。 ・雨水浸透設備設置補助事業について 4 件の補助を行いました。**【下水道管理課】**	○ ②
宅地開発業者に対する雨水浸透施設設置の指導	・63 件の宅地開発事業に対して雨水浸透施設設置の指導をしました。**【土地利用調整課】**	○ ②
東京都環境確保条例に基づく地下水の揚水量の把握、必要に応じた地下水利用者への指導	・全施設 122 件に対し報告するよう指導をし、93%の事業場から報告書が提出されました。未報告事業場に対しても、報告するよう引き続き指導します。**【環境保全課】**	○ ②
湧水調査の継続、湧水地の保全	・窓口での湧水マップの紹介配布、市ホームページでは湧水ページに湧水の写真を追加し、更新しました。 ・「まちだ○ごと大作戦 18 - 20」の取り組みの一つである「町田市湧水マップの作成」チラシをイベントで配布しました。**【環境・自然共生課】**	○ ②

	・他の施策を優先して進めており、具体的な検討が実施できませんでした。**【環境政策課】**	× ②
市街化調整区域における特定土地利用行為に関する水循環の健全化	・市街化調整区域に特定土地利用行為はありませんでした。**【土地利用調整課】**	○ ②
③町田の水辺の魅力を発信します		
→重点事業９（水辺の魅力の発信）　P20 参照		

（３）生物多様性の保全を進めます

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成目標
①生物多様性に関する情報を発信します		
→重点事業 10（生物多様性情報拠点機能の構築・充実）　P21 参照		
生物多様性の確保や外来生物対策に関する市の方針、取り組み状況の発信、啓発活動の実施	・ホームページの生物多様性コンテンツを整理し 2 月にリニューアルしました。 ・各種事業の周知コンテンツを公開しました。 ・まちだ生きもの探しマップ等を配布しました。**【環境・自然共生課】**	○ ③
自然観察会、学習会等の開催	・忠生公園自然観察センター、かしの木山自然公園において四季おりおりの植物、昆虫、野鳥などを題材とした観察会を開催しました。 ・野津田公園において、指定管理者の自主事業として四季おりおりの植物、野鳥などを題材とした観察会を開催しました。**【公園緑地課】**	○ ③
	・鶴見川源流保水の森において、ＮＰＯと協働で小学生を対象とした自然環境学習会を実施しました。**【農業振興課】**	○ ③
②市内の生物の生育・生息状況を把握します		
市民協働による生きもの調査の実施	・アプリにより情報収集をしました。（件数 995 件） ・連動企画で、生きもの探しキャンペーンや自然観察会とのコラボを実施し、情報を収集しました。**【環境・自然共生課】**	◎ ③
③生物多様性保全の取り組みを推進します		
学校におけるビオトープの創出、活用	・虫やメダカなどの水辺の生き物の観察・飼育を行いました**【指導課】**	○ ③
熱回収施設等におけるビオトープの創出	・タフブネや水槽へ仮移植中の希少動植物のモニタリングを行いました。【循環型施設整備課】	○ ③

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成目標
環境保全団体との協働によ	・町田生きもの共生フォーラムで、団体活動を周知する場を提供しました。	○

る、生物の保全推進	**【環境・自然共生課】**	③
	・取り組みはありませんでした。**【公園緑地課】**	― ③
NPO 団体との協働による、貴重な生物の保全促進	・鶴見川源流保水の森及び小野路町奈良ばい谷戸において、ＮＰＯと協働で里山環境の再生、保全、活用に関する活動を実施しました。**【農業振興課】**	○ ①③
ビオトープ作庭イベントの開催	・ビオトープを活用した小学校への出前授業を４校実施しました。**【環境・自然共生課】**	○ ③
④外来生物対策を進めます		
生態系や農業生産に被害を及ぼす外来生物の防除	・捕獲事業と防除事業を並行して実施することで、農家の生産意欲向上に寄与することができました。**【農業振興課】**	○ ③
外来生物の適正な飼育・管理の普及啓発	・今年度もアライグマ・ハクビシン防除事業を実施しました。10 月に町内会自治会掲示板にチラシを掲示、２月に広報に掲載し、申込件数が増えました。**【環境・自然共生課】**	○ ③

（４）谷戸の環境と農地・農業を守ります

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成目標
①谷戸の環境を保全し、活用します		
→重点事業 11（北部丘陵の整備） P21 参照		
樹林地の管理による里山の適正な更新	・取り組みはありませんでした。**【公園緑地課】**	― ③
東京都への緑地里山保全地域指定の要請	・取り組みはありませんでした。**【公園緑地課】**	― ③
市民を対象とした自然環境学習会による谷戸環境の再生管理	・取り組みはありませんでした。**【公園緑地課】**	― ③
自然環境学習会や市民協働による谷戸環境の再生管理	・小野路町奈良ばい谷戸において、地域の伝統農法による谷戸環境の再生に取り組むとともに、公募市民による農業体験（通年）の機会を提供しました。**【農業振興課】**	○ ③
②多面的機能を有する農地を保全するため、農業支援を進めます		
→重点事業 12（遊休農地のあっせん） P21 参照		
農産物直売所の開設支援	・農業者やＪＡ町田市等で構成する農産物販売準備会を開催し、販売所の取扱品目や出荷方法等の検討を行いました。 ・準備会の意見を踏まえて、出荷予定農業者に対して、説明会を 2 回実施し、農産物直売所の開設支援を実施しました。**【農業振興課】**	○ ①
市街化調整地域の耕作放棄地の解消	・2020 年 1 月にバンク公開を行い、2020 年 4 月 1 日付けの新規農地あっせんが７件（12,073 ㎡）成立しました。**【農業振興課】**	○ ①

援農ボランティアの育成を行う市内ＮＰＯ法人に対する事業支援	・援農ボランティアを育成する団体に、育成に係る経費に対して補助金を交付しました。**【農業振興課】**	○ ①
農業研修事業の実施	・第９期生、９名が、２年間の農業研修を修了しました。修了生の多くは、農業に携わる為の進路を選択しています。**【農業振興課】**	○ ①
③環境保全型農業に取り組む農業者の育成を進めます		
環境保全型農業に取り組む農業者の支援・拡大	・東京都エコ農産物認証取得を推奨するため、エコ農産物認証シールの作成経費を補助する特定農産物生産出荷事業補助金や、市内畜産農家が生産する堆肥の購入経費を補助する堆肥流通促進事業補助金を交付しました。 ・堆肥流通促進事業補助金については、エコ農産物認証やエコファーマー認定をもつ農業者に対し、補助率を上げて交付しました。**【農業振興課】**	○ ①

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成 目標
④市民が農業とふれあえる機会を提供します		
市民農園、体験農園の開設・運営支援	・市内３園の市民農園について管理運営を行いました。体験農園について、利用者募集の広報等の支援を行いました。**【農業振興課】**	○ ①
農業体験機会の提供	・野菜作りなど、市民が気軽に農業を体験できる農業体験活動を実施しました。**【指導課】**	○ ①
米作り体験農業の実施	・13 組 32 名の応募があり、田植え、草取り、稲刈りの体験を実施しました。**【農業委員会】**	○ ①
⑤町田の農産物の地産地消を進めます【再掲（１-[3]-⑤）】		
学校給食での地場産農産物の利用推進	・農産物を学校給食の食材として供給するために要する経費の一部を補助することで、農産物の地産地消を促進しました。**【農業振興課】**	○ ①
まち☆ベジマップ（農産物直売所マップ）、まち☆ベジグルメ店などの配布による地産地消 PR	・月２回の地場農産物の販売時、キラリ☆まちだ祭等で PR を行いました。**【農業振興課】**	○ ①

（５）歴史的文化的環境を守ります

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成 目標
①歴史的文化的環境を保全します		
国・都・市指定史跡・有形文化財の整備事業の実施	・八幡平遺跡の四阿建設および整備工事を実施しました。**【生涯学習総務課】**	○ ①
文化財保護の一環として国・都・市指定史跡・有形文化財の広報活動の実施	・文化財ウィークに合わせて企画展を開催しました。多摩郷土誌フェアにおいて関連図書を販売しました。文化財防火デーに伴い消防演習を実施しました。**【生涯学習総務課】**	○ ①
②自然や歴史・文化とのふれあいを進めます		
→重点事業 13（観光交流拠点を活用したイベントの実施）　P21 参照		
フットパスの普及促進	・小野路宿里山交流館及び町田市観光コンベンション協会のイベントでフットパスガイドツアーを実施しました。 ・フットパスルート「相原から七国峠」、「小野神社から小野路界隈」に道標をそれぞれ 1 基設置しました。**【観光まちづくり課】**	○ ①
自然観察会の開催	・忠生公園自然観察センター、かしの木山自然公園において四季おりおりの植物、昆虫、野鳥などを題材とした観察会を開催しました。 ・野津田公園において、指定管理者の自主事業として四季おりおりの植物、野鳥などを題材とした観察会を開催しました。**【公園緑地課】**	○ ①③

◆基本目標３．持続可能な循環型社会の構築
～ごみを減らし資源を有効活用するまちづくり～

（１）ごみの減量、資源化に対する意識の向上を図り.取り組みを促します

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成目標
①３Ｒについて普及啓発を進め、排出抑制を促します		
→重点事業 14（情報発信拠点としてのリサイクル広場の活用）　P22 参照		
ごみの減量を意識づけるためのホームページ等の充実	・長期間未更新のものを検証するとともに随時新しい情報を公開できました。**【３Ｒ推進課】**	○ ①②③
広報紙による啓発	・ECO まちだを年４回発行しました。**【環境政策課】**	○ ①②③
	・ごみナクナーレを８月と２月に発刊し、３Ｒに取り組む団体などを紹介しました。**【３Ｒ推進課】**	○ ①②③
②ごみの減量、分別排出の徹底に関する市民の学習の機会を提供します		
→重点事業 15（ごみ減量に関する出前講座の充実）　P22 参照		
ごみ減量に関する体験型学習機会の充実	・町内会自治会等向けに 14 回の講座を実施し、受講者が地域の人に広めることでさらに効果的な啓発ができました。**【３Ｒ推進課】**	○ ①②③
剪定枝資源化センター、リレーセンターみなみ等の見学機会の充実	・剪定枝資源化センターが５件、リレーセンターみなみには 3 件の視察がありました。視察者に対して、ごみ分別や資源化の必要性をＰＲすることができました。**【資源循環課】**	○ ①③
③市民・市民団体・事業者との協働によるごみ減量の啓発活動を進めます		
ごみ減量サポーター（廃棄物減量等推進員）との地域活動の促進	・７団体に地域リサイクル広場の開催支援をしました。また、ごみ減量サポーターを対象とした研修会を 11 月に１回、リサイクル施設見学会を 11 月に１回開催しました。**【３Ｒ推進課】**	○ ①②③
市民・市民団体・事業者と協働し、その活動を支援	・子育て広場や高齢者施設などと協働で地域の人に効果的な３Ｒの普及ができました。**【３Ｒ推進課】**	○ ①②③

（２）ごみの発生抑制、再使用を進めます

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成目標
①家庭におけるごみの減量・発生抑制を促進します		
→重点事業 16（食品ロスの啓発等、各種キャンペーンの実施）　P22 参照		
有料指定収集袋利用制度の継続	・指定収集袋は、国内製造を条件に委託を行っていたため、年間を通して安定供給を図ることができました。**【３Ｒ推進課】**	○ ①②
回収した粗大ごみの修理、販売	・（一財）まちだエコライフ推進公社と「粗大ごみ等の有効利用に関する協定」を締結し、協定に基づき提供した粗大ごみ等を同公社が修理・再生し、	○

	販売しました。 ・３Ｒ推進課主催の「さんあーる広場」にて、出張販売を行いました。**【３Ｒ推進課】**	①③
②事業系ごみの減量を促進します		
→重点事業 17（事業所向けの情報提供の実施）　P23 参照		
事業系ごみの適正排出のための事業者への丁寧できめ細かな情報提供と発信	・大規模事業所への訪問や説明会での指導など、428 件の事業所・事業者に対して指導を行いました。なお南町田グランベリーパークに対しては、オープン前の 10 月８日、オープン後の３月 17 日に訪問指導を行いました。 ・「まちだ３Ｒ賞」については、３件の申請があり、審査の結果、１事業所を表彰しました。**【３Ｒ推進課】**	○ ①②③
	・排出事業者へは 66 件、許可業者へは 11 件の訪問指導を行い、適正搬入に向けた指導を継続的に行いました。 ・１月に許可業者向けの説明会を開催し 61 社の参加がありました。**【資源循環課】**	○ ①②
事業者と連携した食品ロスの啓発活動の推進	・食べきり協力店２店舗追加しました。今が食べごろ「めしあがれ」キャンペーンを６店舗で実施しました。**【３Ｒ推進課】**	○ ①②

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成 目標
③市内イベントでのごみの発生抑制の取り組みを推進します		
市内でのイベント開催時におけるリユース食器の利用促進など、ごみの出ないイベント開催の支援	・３R推進課主催の「さんあーる広場」にて、リユース食器を使い、リユース食器の普及啓発・利用促進を行いました。 ・ごみ減量サポーターに対し制度概要の説明を行い、支援イベント数が増加しました。**【３R推進課】**	○ ①②
各種イベントでの「ごみ減量キャンペーン」の実施	・市内のイベントやお祭りでブース出展し積極的にごみ減量啓発ができました。合わせてステージを利用した３R公開講座を 10 回実施しました。 ・ごみ袋水切りキャンペーンを子どもセンターで実施しました。 ・ごみ袋サイズダウンチャレンジを新たに図書館や市立総合体育館で実施しました。**【３R推進課】**	○ ①②③

（３）ごみの資源化を進めます

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成 目標
①生ごみの資源化を図ります		
→重点事業 18（生ごみ処理機の導入促進）　P23 参照		
ダンボールコンポスト等の利用方法や生成物の使い方講座の開催	・ダンボールコンポスト講習会を 17 回開催しました。 **【３R推進課】**	○ ①②③
②プラスチックの資源化を図ります		
容器包装プラスチックの市内全域での資源化に向けた検証及び準備	・既に収集を開始している地域において、容器包装プラスチックの分別の促進や適正排出の啓発を目的に、複数のターゲットに対して４回の周知活動を行いました。**【３R推進課】**	○ ①③
搬入された製品プラスチックの資源化	・資源化を行う新規事業者の開拓はできませんでした。現行業者は安定的に処理が出来ています。**【資源循環課】**	△ ①③
③生活や社会活動から発生するごみの資源化を図ります		
剪定枝の資源化・有効利用の推進	・各種イベントに出展し、剪定枝の資源化・有効利用のＰＲ及び剪定枝たい肥の販売を行いました。 ・剪定枝の搬入量・処理量・資源化量はほぼ横ばい状態です。 ・たい肥化の過程で生じる規格外品は、学校や公園等で活用されていますが、市民向けにはまだ活用が進んでいません。**【資源循環課】**	△ ①③
「リサイクル広場まちだ」での回収品目追加の検討	・回収品目を追加することはできませんでした。**【３R推進課】**	× ①③
地域住民主体で運営する地域リサイクル広場の拡大	・要望に応じ回収量等を記載したパネルを作成、提供しました。**【３R推進課】**	○ ①③

搬入廃棄物の分別による再資源化の促進	・今年度新たな資源化物の開拓には至りませんでしたが、搬入廃棄物については、年間を通して資源化をしています。**【資源循環課】**	○ ①③
事業所の紙ごみリサイクルの促進	・収集拠点の設置に替わる方法を探るため、商工会議所に対して、環境問題に力を入れている事業所、紙の資源化の工夫をしている事業所などの情報提供を依頼しました。【３Ｒ推進課】	× ①③
家庭からでる雑紙の資源化促進	・広報紙での連載記事や封筒への啓発文の掲載を拡大しました。【３Ｒ推進課】	○ ①③

（４）ごみの適正な排出処理を進めます

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成 目標
①ごみ排出ルールの周知徹底等の普及啓発を進め、適正な排出を促します		
ごみの出し方・分別等の情報を発信するホームページ等の充実	・市民からのホームページコンテンツ評価を参考に、見つけ易くわかり易い案内になるよう更新を行いました。**【３R推進課】**	○ ①③
広報紙による啓発	・ECO まちだで違法な不用品回収業者への注意を促す記事を掲載するなど、排出ルールの啓発を行いました。 ・収集カレンダー及び出し方ガイドは、問い合わせが多いごみの分別などを中心に改善を図り更新しました。**【３R推進課】**	○ ①③
集合住宅の管理会社等への、ごみの出し方や減量に関する説明会の実施	・38 件の集合住宅に対して、集積所・ごみ置き場への啓発看板設置や管理会社への適正排出の指導を行いました。**【３R推進課】**	○ ①②③
「ルールブック」を活用した、事業系ごみの適正排出のための啓発	・ルール違反のあった事業所 13 件に対し、指導を行いました。 ・排出事業者向け講習会を１回実施しました。**【３R推進課】**	○ ①③
事業系ごみ搬入物検査機による、ごみの適正排出に関する指導の徹底	・事業系ごみ検査機による内容物検査を年間 544 件実施しましたが、事業系ごみの不適物混入は減少傾向でした。 ・不適物の混入が認められた場合、事業者に対し注意書の発行や持帰りごみに対する処理報告書の提出を求めています。**【資源循環課】**	○ ①③
②適切なごみ収集と運搬の効率化を図ります		
→重点事業 19（ごみ・資源の新たな効果的な収集方法の検討）　P23 参照		
収集車両の適正配置によるごみ収集・運搬の効率化	・2020 年度から開始する不燃ごみの直営収集に備えて、軽ダンプ車２台を買い替えました。 ・車両火災対策で消火扉を設置するなど、不燃収集時に必要な修繕を行いました。**【３R推進課】**	○ ①
ごみの収集車両として天然ガス車、ハイブリッド車等の導入推進	・2019 年度の導入はありませんでしたが、天然ガス車、ハイブリッド車等の導入推進の考え方は継続していきます。**【３R推進課】**	△ ①
③安全で適切なごみ処理を行います		
ごみの適正処理に関する情報の案内、配布物等による情報提供	・所管しているホームページの見直しを行い、市民が見てわかり易い内容に修正することができました。 ・排ガス測定結果等の必要な情報を適宜更新することができました。**【資源循環課】**	○ ①
④焼却灰等の有効利用を継続します		
清掃工場で発生した焼却灰等のエコセメント化による	・年間を通して東京たま広域資源循環組合エコセメント化施設にて、焼却灰等のエコセメント化を行いました。**【資源循環課】**	○ ①③

資源化		
下水処理場の汚泥焼却灰、沈砂の建設資材等としての再資源化	・下水処理場から発生する全ての産業廃棄物（汚泥焼却灰や沈砂汚泥など）について 99.1%の再資源化率を達成しました。**【水再生センター】**	○ ①③
⑤ごみの資源化施設の整備を進めます		
→重点事業 20（熱回収施設等（焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設）の整備）　P24 参照		
→重点事業 21（資源ごみ処理施設の整備）　P24 参照		

（１）大気汚染の防止に努めます

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成 目標
①大気の汚染状況を監視し、市民へ公表します		
市内の大気環境の把握［常時監視（都）、沿道大気調査（市）］	・主要幹線道路交差点等における大気調査を 12 月に６地点で行いました。 ・ダイオキシン類等分析調査を３地点で年２回（８月、２月）行いました。**【環境保全課】**	○ ①
大気調査結果や大気汚染情報等の収集及び周知・提供	・2019 年度に実施した大気調査結果は、６月にホームページで公表しました。**【環境保全課】**	○ ①
光化学スモッグ注意報等発令時の周知	・光化学スモッグ東京都メール配信への登録案内の情報提供を環境広報・ホームページ及び、町田市メール配信サービス（子育て情報、気象・地震情報、学校教育情報）にて行いました。また、学校情報・注意報等が発令された際にはすみやかに関係機関へ情報提供しました。（2019 年度の東京都多摩南部における注意報の発令回数は１件でした）**環境保全課】**	○ ①
②事業活動での大気汚染物質の発生を抑制します		
大気汚染について、工場等を設置する事業者に対する事前指導及び違反事業者への指導	・工場等設置時に届出がある場合は、届出内容を確認し、必要に応じて事業者に指導を行いました。違反事業者に対しては、現地確認し、改善の指導をしました。**【環境保全課】**	○ ①
野外焼却防止のための事前指導や広報等による啓発	・相談があった際に現地に出動し、禁止及び例外行為に該当する場合は近隣への配慮を行うよう指導しました。また、環境広報に野焼きに関する記事を掲載し、野外焼却防止を啓発しました。**【環境保全課】**	○ ①
③自動車利用を控え、公共交通利用を進めます【再掲（1-[3]-②）】		
路線バスの利用環境整備	・相原十字路バス停及び響きの丘バス停にバス停上屋を設置しました。 ・相原十字路バス停、ストアー前バス停、やくし台三丁目バス停、鶴川六丁目バス停にバス停ベンチを設置しました。**【交通事業推進課】**	◎ ①
地域コミュニティバス等の運行	・市内４地区（相原、本町田、つくし野、高ヶ坂・成瀬）において小型乗り合い交通の導入に向けた実証実験運行を実施しました。**【交通事業推進課】**	○ ①
市が開催するイベント時の公共交通利用の推進	・緑のカーテンイベントや環境セミナーなどの催しで公共交通機関の利用を呼びかけました。**【環境・自然共生課】**	○ ①
④低公害車の普及促進等を図ります【再掲（１-[３]-③）】		
次世代自動車等の低公害車の普及促進	・電気自動車充電器の利用を促すとともに、燃料電池自動車の展示や、低公害車の仕組みについてのパネル展示、ホームページでのコンテンツ公開などにより、普及啓発を行いました。**【環境・自然共生課】**	○ ①
水素ステーションの誘致	・水素ステーションの誘致に至りませんでした。**【環境・自然共生課】**	△

		①
エコドライブの周知、普及・啓発	・イベント実施時にはエコドライブガイドの配布を行いました。 ・エコフェスタではエコドライブを体験してもらう試乗会を開催しました。**【環境・自然共生課】**	◎ ①
低公害車[天然ガス自動車・ハイブリッド車・電気自動車等]の公用車としての導入検討・実施	・旧環境基準の業務用車両 4 台を、現行基準に適合した車両に買い替えました。また、旧環境基準の業務用車両 26 台を現行基準に適合したリース車両に更新しました。**【市有財産活用課】**	○ ①
⑤自転車利用環境の整備を進めます【再掲（1-[3]-④）】		
→重点事業 22（自転車利用環境の整備）　P24 参照		
自転車駐車場の整備	・自転車駐車場の建て替え等を含めた更新・運営方針を策定しました。**【道路管理課】**	○ ①
市職員の近隣移動時の自転車利用推進	・自転車利用のメリットを盛り込んだ掲示を行い、省エネを周知しました。**【環境・自然共生課】**	○ ①
	・安全運転講習会で町田市職員安全運転ハンドブックを配布し、近距離の移動時はできるだけ自転車を利用するように周知しました。**【市有財産活用課】**	○ ①

（２）良好な水質の確保に努めます

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成目標
①汚水管の整備と合併処理浄化槽の普及による適正な汚水処理対策を進めます		
→重点事業 23（下水道未整備箇所の汚水管整備の推進）　P25 参照		
②河川へ放流する下水処理水の水質向上を図ります		
→重点事業 24（下水処理水の水質向上）　P25 参照		
③水質汚濁物質の排出抑制のため、市民・事業者への働きかけを推進します		
水質汚濁について、河川等へ直接排水を行う事業者に対する事前指導及び違反事業者への指導	・公共用水域に直接汚水を排水している 29 事業場に対し、排水の水質検査を実施しました。基準の超過がみられたときは、原因究明及び対策の指導をしました。**【環境保全課】**	○ ②
下水道法に基づく、下水道に排水を行う事業者への調査や指導の実施	・予定通り聞き取り調査を 111 件実施し、下水道法に基づく届出等について指導を行いました。 ・予定通り排水検査を延べ 56 件実施し、すべての結果が基準に適合していることを確認しました。**【水再生センター】**	○ ②
特定施設未届事業場の発見と、届出の指導の実施	・環境保全課と情報を共有するとともに、特定施設未届事業場の発見と特定施設の届出指導を行いました。**【下水道管理課】**	○ ②
	・下水道部に提出されている事業場の届出状況や住宅地図の情報などを確認し、未届であることが発覚した場合には届出指導を行いました。**【環境保全課】**	○ ②

規制対象外事業者へのグリース阻集器等の管理に関する啓発	・ホームページ等を利用し、排水設備の適正管理の啓発活動を行いました。 ・また市内 44 店舗及び 5 商店会に対して、グリース阻集器の維持管理について啓発・指導を行いました。**【下水道管理課】**	○ ②
地下水汚染について、工場等を設置する事業者に対する事前指導及び違反事業者への指導	・既存の事業場にて構造等の変更に関する届出書が提出された時に、構造基準の遵守義務や定期点検の実施義務を指導しました。**【環境保全課】**	○ ②
土壌や地下水汚染の防止のため、農薬や施肥の適正量の利用及び低減に向けた啓発の実施	・東京都エコ農産物認証取得を推奨するため、エコ農産物認証シールの作成経費を補助する特定農産物生産出荷事業補助金を交付しました**【農業振興課】**	○ ②
下水接続の普及促進	・相原地区を中心に普及訪問を行った結果、新規接続家屋が 15 件増加しました。 ・供用開始してまもない家屋の訪問を予定よりも多く行いました。**【下水道整備課】**	◎ ②
河川の水質事故防止のための広報等による啓発	・水質異常事故の発生防止を啓発するため、公共用水域に排水している事業場に対し、処理施設の維持管理や有害物質の地下浸透防止について注意喚起をするための文書を送付しました。**【環境保全課】**	○ ②
下水道の正しい使い方の指導	・主に下水道ＰＲ部会での活動を通じて啓発活動を行いました。**【下水道管理課】**	○ ②
下水処理場への市民等の施設見学受け入れ	・両処理場で市民、学校、団体等の年間で 602 名、団体数では 17 団体の方が施設見学に訪れました。 ・引き続き、多くの市民の方に処理場のことを知っていただけるよう努めていきます。**【水再生センター】**	○ ②
④市内の主要河川等において、定期的な水質調査を実施します		
主要河川である鶴見川、境川、恩田川等の河川調査の実施とホームページ等での調査結果の公表	・河川調査は予定通り月１回実施しました。2019 年度に実施した調査結果は、５月にホームページで公表しました。**【環境保全課】**	○ ②

（３）誰もが安心して快適に暮らせる環境の実現を図ります

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成 目標
①有害化学物質等の適正管理・処理の指導を進めます		
→重点事業 25（有害化学物質の適正管理・処理の指導）　P25 参照		
事業者が自ら化学物質の適正な管理を行えるよう届出の指導	・化学物質使用量報告書の提出が必要とされる適正管理化学物質取扱事業者 72 件から報告書が提出されました。 ・事業者に対しては必要に応じ化学物質管理方法書の作成を指導しました。**【環境保全課】**	○ ③
既存建物の解体時におけるアスベスト使用調査・届出・適正処理の指導	・アスベスト使用建築物の解体等工事では、事前相談や届出受理について適切に指導することができました。 ・年 2 回の建設リサイクル法に関する一斉パトロールのほか、東京都から依頼のあったパトロール、また環境保全課による独自のパトロールも実施し、看板の掲示などに不備があった場合には指導しました。**【環境保全課】**	○ ③
	・適切にアスベストや資源が分類されるよう、パトロールによる指導を行いました。**【建築開発審査課】**	○ ③
②悪臭の発生防止に努めます		
悪臭について、工場等を設置する事業者に対する事前指導及び、悪臭を発生させた事業者への指導	・工場設置認可申請等を受ける際には、あらかじめ悪臭が発生しない作業工程や設備の導入をするよう指導しました（2019 年度は工場 17 件、指定作業場 27 件の申請がありました）。 ・悪臭を発生させてしまった事業所等に対しては、原因を究明したうえで、作業工程を変更するなど再発防止対策を講ずるよう指導しました・**【環境保全課】**	○ ③
清掃工場における、臭気測定の実施及び設備の適正管理による臭気の発生抑制対策の実施	・清掃工場内で発生した臭気は焼却炉の燃焼用に使用し、また脱臭装置の運用を適正に行ったことで、清掃工場の敷地境界線地表における臭気指数の測定結果は規制基準値に適合していました（測定値：10 未満）。**【資源循環課】**	○ ③
農業者に対する畜舎清掃や畜糞の適正処理方法、施肥の適正な使用方法の周知等、臭気発生抑制の指導	・畜舎の衛生管理に必要な経費に対する補助を行いました。**【農業振興課】**	○ ③
③自動車や、事業活動による騒音・振動問題への取り組みを進めます		
主要幹線道路における自動車騒音調査の実施	・自動車騒音常時監視・面的評価については 7 ヶ所委託にて実施しました。 ・市内幹線道路の自動車騒測定（要請限度）についても 3 ヶ所直営にて実施しました。**【環境保全課】**	○ ③

騒音・振動について、工場等を設置する事業者や工事を行う事業者に対する事前指導及び違反事業者への指導	・工場設置認可申請等や事前協議、特定建設作業実施届を受ける際には、騒音や振動の発生に注意し、近隣へ配慮するよう指導しました（2019 年度は事前協議 123 件、特定建設作業 165 件の申請がありました）。 ・騒音や振動により近隣から相談が寄せられた場合には、原因を究明したうえで、事業場等に対して作業工程を変更するなど再発防止対策を講ずるよう指導しました。**【環境保全課】**	○ ③
④航空機騒音の軽減のための取り組みを進めます		
国及び米軍に対し、NLP や早朝・夜間・土日祝日の飛行の中止・制限等を要請	・国及び米軍に対し、空母艦載機着陸訓練を硫黄島で全面実施すること、恒常的訓練施設を確保すること、厚木基地の運用、騒音状況等についての情報提供を行うことを厚木基地騒音対策協議会※で要請しました。 ・米軍に対し、厚木飛行場周辺における「航空機騒音防止対策の推進」について東京都と共同で要請しました。**【企画政策課】**	○ ③
航空機騒音の常時測定［市内５箇所］と測定結果の広報	・航空機騒音常時測定（市内５箇所）を引き続き実施しました。 ・航空機騒音について、市が測定した結果を広報やホームページで公表し、航空機騒音による苦情件数とともに速やかに関係機関に報告しました。**【環境保全課】**	○ ③
⑤その他の問題の対策を考え、安心で快適な環境の実現を図っていきます		
建物等を建設する事業者に対する電波障害の事前調査や対策の指導	・中高層建築物を建築する際の事前協議において、10m以上の建築物の場合は、テレビの受信障害調査報告書を提出するよう指導しました。 ・建築中または建築後に受信障害が発生した場合は、速やかに対応するよう指導しました。**【環境保全課】**	○ ③

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成 目標
電波障害及び受信障害の相談、情報提供	・テレビ受信障害調査報告書に基づいた障害予測地域の情報提供を行いました。**【環境保全課】**	○ ③
事業者に対する屋外照明、駐車場での車両照明等の配慮など光害未然防止の指導	・工場等設置届出時及び中高層建築物を建築する際の事前協議、大規模小売店舗立地法に伴う事前協議において、屋外照明や車両の灯火による光害防止対策を講ずるよう指導しました。**【環境保全課】**	○ ③
街路灯への遮光板の取り付け	・市民からの要望により、11 基の街路灯に遮光板を取り付けました。**【道路維持課】**	○ ③
監視・指導による土砂の不法投棄の防止と早期発見	・パトロールを強化し早期発見に努めました。**【建築開発審査課】**	○ ③
近隣騒音などのトラブル防止のためのマナー啓発	・生活騒音についての啓発記事をホームページに掲載しました。**【環境保全課】**	○ ③
市民の生活環境の保全のための空き家対策の推進	・管理不全となっている空家所有者への文書による意識啓発や現地調査に基づく現状についての情報提供を実施した結果、管理不全となっていた空家を 61 件改善することができました。**【住宅課】**	○ ③

※厚木基地騒音対策協議会会員（行政関係）

町田市・神奈川県・横浜市・藤沢市・茅ヶ崎市・相模原市・大和市・海老名市・座間市・綾瀬市

（４）美しいまち並みづくりを進めます

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成 目標
①地域が主体となった良好な景観づくりを進めます		
→重点事業 26（生活風景宣言等による良好な景観づくり）　P25 参照		
景観づくりの基準となるガイドラインの整備	・2017 年度に達成済みです。	― ③
景観づくりセミナーの実施	・多摩美術大学の授業で課題「まちだ・環境の近未来」を生徒が行う前段として、町田市における景観づくりを講演した。その後市役所１階多目的スペースにおいて、生徒の作品を展示した。**【地区街づくり課】**	◎ ③
景観づくり市民サポーターによる啓発活動の実施	・2017 年度に終了しました。	― ③
②快適な道路環境づくりを進めます		
市内各駅における放置自転車対策の実施	・放置自転車対策業務の円滑な遂行に努め、午後から夕方の時間帯の放置自転車に対する対策を強化しました。**【道路管理課】**	○ ③
学校や地域での自転車や二輪車のマナー啓発	・市立小学校全 42 校（うち 14 校は天候等の影響により警察による講話のみ）と、市立中学校 7 校を対象に、自転車教室を開催しました。中学校自転車教室の実施においては、交通安全協会やシルバー人材センターなど、多くの関係団体に協力を呼び掛けた他、保護者を対象としたメール配信サービス等を通じて周知を図り、地域住民の参加を促しました。 ・警察と連携し、街頭で自転車利用者に対して、啓発チラシの入ったティッシュ等を配りながら安全運転を呼び掛けるキャンペーン活動を行いました。 ・５月開催した「町田市春の交通安全教室」において、「ペーパーライダー安全運転教室」を実施し、二輪車の運転に不慣れな運転者に対して啓発を行いました。 ・９月に開催した「町田市民交通安全フェスティバル」では、町田市ホームタウンチームの「FC 町田ゼルビア」、「ASV ペスカドーラ町田」、「キヤノンイーグルス」の選手やスタッフに協力を依頼することにより、交通安全になじみのない方への参加を促し、自転車の安全利用について学んでもらえるようなイベントを実施しました。**【市民生活安全課】**	◎ ③
都市計画道路、市街地道路での無電柱化工事の実施	・無電柱化に向け、交通管理者や地域の方々と地上機の位置などについて検討しました。**【道路整備課】**	○ ③

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成 目標
市民ボランティア団体による道路の美化活動の推進［アダプト・ア・ロード事業］	・新規に 3 団体が登録しました。既存団体には、活動報告の提出してもらい、また希望団体には活動に必要な物品の支援を行いました。**【道路管理課】**	○ ③
③ごみの不法投棄、ポイ捨ての防止に努めます		
統一美化キャンペーンのＰＲ	・広報・ホームページ・ポスター等を通じ、ごみゼロデーのＰＲを行うとともに、５月２４日に成瀬駅周辺で散乱ごみの一斉清掃を実施しました。**【環境保全課】**	○ ③
美化推進重点区域（あきかん、吸い殻等のポイ捨て防止区域）の指定及び運用	・地元の方々との意見交換を行いながら、新たな区域指定に向けた検討を進めました。 ・委託業者による指定区域内の清掃を実施し環境美化の保全に努めました。**【環境保全課】**	○ ③
道路等喫煙禁止区域（路上喫煙禁止区域、喫煙スポット）の指定及び運用	・2019 年度より、民間事業者と美化推進員による巡回指導業務の委託契約を行いました。 ・区域について幅広い世代に効果的に周知出来る取組を検討しました。**【環境保全課】**	○ ③
あき地の所有者への雑草除去指導	・雑草が繁茂しているあき地の所有者（対象者）に対し、雑草除去をお願いする通知を行いました。**【環境保全課】**	○ ③
不法投棄監視カメラの有効利用及び、パトロールによる再発防止対策の実施	・監視カメラ 1 台を新規で設置しました。 ・パトロールは、不法投棄重点地区を中心に昼夜合わせて年間 152 回実施しました。**【３R推進課】**	○ ③
土地所有者等との協働による、不法投棄再発防止対策の検討・実施	・不法投棄発生場所に啓発看板を設置（31 件・58 枚）し、不法投棄防止策及び再発防止策を提案しました。**【３R推進課】**	○ ③

◆基本目標５．環境に配慮した生活スタイルの定着

～学び・協働で進めるまちづくり～

（１）次世代を担う子どもの環境学習を進めます

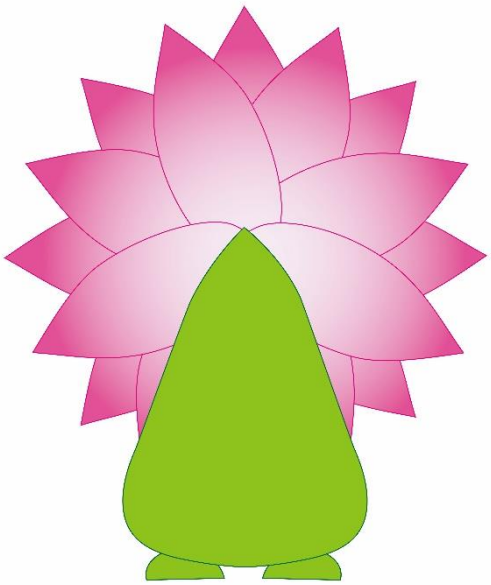
取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成 目標
①学校における環境教育の充実を図ります		
→重点事業 27（環境副読本を活用した環境学習の実施）　P26 参照		

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価
各教科等における指導、環境学習、農業体験、自然体験の実施。	・地域の方々の協力を得ながら、学年や委員会活動でビオトープの整備を行うとともに、児童が休み時間の遊びや各教科等における学習などで活用しました。**【指導課】**	○ ②
ボランティアコーディネーター等を活用した環境教育の実施	・地域や保護者の協力を得ながら、学校林業体験や雑木林を利用した植物・野鳥の観察などの学習を行いました。**【指導課】**	○ ②
出前講座を活用した児童・生徒、保護者への環境教育の実施	・保護者向けの啓発物を充実させるとともに、公開授業へ積極的に参加し、子どもだけでなく保護者に対しても直接啓発する機会を作ることができました。**【３R推進課】**	○ ②
②子どもの環境学習・体験学習を進めます		
→重点事業 28（子ども向け環境講座のプログラムの企画・実施）　P26 参照		
こどもエコクラブの設立促進と活動の継続支援	・エコクラブ事務局より発送されるチラシ・ポスター等を掲示・配布することで、こどもエコクラブの設立促進・活動の継続支援を行いました。**【環境・自然共生課】**	○ ③
③環境教育情報の収集・提供を図ります		
出前講座や大学が提供する環境教育の取り組み等、既存の環境教育プログラム情報の収集、提供	・ホームページに東京都や国が公開している環境啓発コンテンツへのリンクを設定しました。**【環境・自然共生課】**	○ ③

（２）市民・事業者の環境学習・保全活動を推進します

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成 目標
①市民の環境学習や環境保全活動に参加する機会の充実を図ります		
環境に関する学習機会の提供	・まちだ市民大学ＨＡＴＳ環境講座を前期７回、後期８回実施しました。受講生の８５％以上が講座終了後も引き続きエコ活動に取り組む意欲を示しており、環境問題への関心を高めることができました。**【生涯学習センター】**	○ ①③
	・市民等を対象とした環境をテーマとしたイベントを開催し、環境学習の機会を提供しました。**【市民協働推進課】**	○ ①③
	・地球温暖化や生物多様性をテーマとしたイベントを開催しました。**【環境・自然共生課】**	○ ①③
ライトダウン等節電意識向上のためのキャンペーンの開催を通じた啓発	・相模原市、各団体との連携や調整が順調に進み、充実した事業とすることができました。**【環境・自然共生課】**	○ ①③
まちづくりの検討の場での環境配慮の視点の啓発	・鶴川駅周辺街づくりワークショップ「鶴川駅を考える会」全 10 回に参加し、住民の鶴川駅周辺地区の景観や街づくりに対する意見を収集し、冊子を作製しました。**【地区街づくり課】**	○ ①③
生物多様性にかかわる多様な主体の交流の場づくり	・町田生きもの共生フォーラムを開催しました。**【環境・自然共生課】**	○ ①③
②事業者の環境配慮への取り組みや環境保全活動を支援します		
中小企業が行う環境に配慮した整備への改修等に必要な資金調達への支援	・取扱金融機関等と連携し、事業者から求めがあった際にはメニュー内容についての説明を行いました。 ・取扱金融機関へ事務手引きを送付しました。**【産業政策課】**	○ ①
事業者の環境保全活動の支援	・エコフェスタでは、まちだエコ宣言事業者のブースを出展し、取組紹介を行いました。**【環境・自然共生課】**	○ ①
	・環境保全活動に取り組む事業者にインタビューを行い、環境白書で紹介記事を掲載しました。**【環境政策課】**	○ ①
公益的活動への事業者参加の促進	・新たに２つの事業者が活動を開始しました。**【公園緑地課】**	○ ①
里山における事業者の環境保全活動の場を提供する仕組みづくり	・事業者・市・ＮＰＯ法人との協定締結は、2017 年度で終了したため、実施しておりません。**【農業振興課】**	― ①
③環境に配慮した事業者を認定する制度をつくります		
→重点事業 29（まちだエコ宣言制度の推進）　P26 参照		

（３）環境学習・保全活動の基盤づくりや協働の仕組みづくりを進めます

取り組み項目	2019 年度実施内容	評価 達成 目標
①環境に関する情報を積極的に発信します		
環境に関する情報の発信	・「ＥＣＯまちだ」を年４回発行しました。 ・「環境白書 2019」を発行し、ホームページでも情報を公開しました。**【環境政策課】**	○ ①
	・地球温暖化防止や生物多様性保全をテーマにしたイベントの開催。ホームページ上やパンフレット等による普及啓発を実施しました。**【環境・自然共生課】**	○ ①
環境に関する出版物を充実させて提供、環境をテーマにした特集コーナーを随時設置	・環境に関する出版物の収集に努め、2019 年度受入合計は 163 冊で、2019 年度末の合計は 5,584 冊となりました。鶴川駅前図書館は、里山や身近な自然に関する資料をまとめた書架「みどりのコーナー」を、中央図書館では、児童コーナーに「小さな自然」と題したコーナーを設置して常設しています。**【図書館】**	○ ①
町田市の環境の状況・取り組み等を、白書・ホームページ等で公表	・2018 年度環境調査事業概要をホームページで公表しました。 ・航空機騒音について、市が測定したデータ及び東京都が 2018 年度に測定したデータを取りまとめ、広報やホームページで公表しました。 ・土壌汚染対策法に関する区域指定等の情報についても随時ホームページに掲載しました。**【環境保全課】**	○ ①
	・町田市の 2018 年度の環境の状況や取り組みなどを「町田市環境白書 2019」として公表しました。**【環境政策課】**	○ ①
市のイベントにおける環境配慮の取り組み推進	・エコキャラクター「ハスのん」の使用・貸出申請は今年度 10 件あり、それぞれのイベントの中で参加者への環境配慮の呼びかけを行いました。**【環境政策課】**	○ ①
	・緑のカーテンイベントや環境セミナーなどの催しで公共交通機関の利用を呼びかけました。**【環境・自然共生課】**	○ ①
②市民・事業者の環境保全活動の情報の共有化を図ります		
→重点事業 30（ホームページの充実による情報集約・発信）　P27 参照		
③大学等との連携を進め、環境学習の機会を創出します		
相模原・町田大学地域コンソーシアムや各大学と環境学習に関する取り組みを連携・協働して行うための仕組みづくり	・連携、協働した取り組みとして環境をテーマにした講座は実施できませんでしたが、「さがまちカレッジ」で子どもを対象とした「夏のバッグを作ろう　－ ビニールシートで作るかんたんでおしゃれなバッグ －」と題した講座を協働して実施し、環境にやさしい生活の学習へとつなげました。**【生涯学習センター】**	△ ①③
ECO-TOP インターンの受け入れ	・夏期に４名、冬期に２名の大学生を受け入れ、市の施策や事業体験を通じて環境行政について学習してもらいました。**【環境政策課】**	○ ①③
④環境保全活動の担い手の育成、人材の活用を図ります		

→重点事業 31（ごみ減量サポーターの地域活動支援）　P27 参照		
環境保全活動団体や環境保全に取り組む市民への支援の検討、実施	・市ホームページ、町田生きもの共生フォーラムにおいて、団体活動を周知する場を提供しました。**【環境・自然共生課】**	○ ①③
	・株式会社ゼルビアが主催するイベントに参加し、参加者に向け環境啓発を行いました。**【環境政策課】**	○ ①③